

第3回鳥取市市民自治推進委員会

配付資料一覧

【H27.9.18(金)】

資料番号	資料のタイトル
	次第、平成27年度活動計画
参考資料1	「参画と協働のまちづくりフォーラム」の実施状況について
参考資料2	参画と協働のまちづくりフォーラムの検証について
参考資料3	平成28年度「参画と協働のまちづくりフォーラム(仮称)」について

第3回 鳥取市市民自治推進委員会

日時 平成27年9月18日(金)10:00~12:00

場所 市役所本庁舎 4階第2会議室

次 第

1 開 会

2 あいさつ

3 議 事

(1) 先進的活動団体との勉強会

① 合同会社 コミュニティデザイン工房 代表 藤原一輝

(とっとりふるさと元気塾受託者)

【※資料は当日配布】

(2) 協議事項

① 参画と協働のまちづくりフォーラムについて【参考資料①~③】

(3) その他

① 次回日程 月 日 ()

4 閉 会

平成27年度の活動計画

年間のスケジュール

回数	時 期	主な審議事項等
1回	4 / 2 7	今年度の市民自治推進委員会の活動計画について 市民まちづくり提案事業（市民活動促進部門）審査会委員の選出について
2回	7 / 1	市民まちづくり提案事業助成金協働事業部門（行政提案型事業）交付申請団体の審査（申請団体のプレゼンテーション） 先進的活動団体との勉強会について（検討）
3回	9 / 1 8	先進的活動団体との勉強会の実施 参画と協働のまちづくりフォーラムについて
4回	9 ~ 1 0月	市民活動表彰被表彰者の審査 参画と協働のまちづくりフォーラムについて
5回	1月	参画と協働のまちづくりフォーラムについて 委員会活動報告書の策定についての検討
6回	3月	今年度の活動の総括 委員会活動報告書の策定 来年度活動方針、計画等の検討 参画と協働のまちづくりフォーラムについて

鳥取市過疎地域・中山間地域人材養成事業

とっとりふるさと元気塾の 取り組みについて



2015. 9. 18

合同会社コミュニティデザイン工房代表
(とっとりふるさと元気塾事務局長)

藤原一輝

プロフィール: 藤原一輝 (ふじわら かずき)

- ・岡山生まれ・神戸育ち
- ・1978年 京都市立芸術大学美術学部 I D卒業
- ・同年 三洋電機株式会社(株) デザインセンター入社
- ・1984年 鳥取三洋電機(株) 鳥取デザイン部出向
ラジカセ、電卓、ワープロ、FAX、電話、PC
産学連携(鳥大とのLED活用研究、他)
マーケティング担当、ネット通販担当
フランチャイズ経営(飲食店)別会社取締役
役員秘書、経営企画課長
- (授賞) 毎日デザインコンペ入選、大阪産業デザインコン
ペ入賞、富山県アウトデザインコンペ優秀賞(準グランプリ)
- ・2009年 三洋電機退職
- ・2010年 鳥取県広報連絡協議会マネージャー
- ・2011年 合同会社まちづくり工房隆 副代表
とっとりふるさと元気塾の受託・運営
- ・2012年 合同会社コミュニティデザイン工房代表
- ・2014年 総務省地域力創造アドバイザー

- ・学生時代に食べ歩きが趣味に。また紅茶と出会う
- ・食べ歩きガイドブック関西編(講談社)執筆
- ・鳥取県でジゲおこしに出会う。地域づくり活動スタート
- ・1994年 鳥取県ジゲおこし団体協議会コーディネーター
- ・タウン情報誌スペースの企画・デザインに加わる
- ・鳥取の食べ歩きガイドブック「カルチャー食」編集出版
- ・紅茶の会設立～現在に至る
- ・和歌山県本宮町まちづくり協議会顧問契約(5年間)
- ・倉吉市赤瓦テナント会会長(6年間)、紅茶専門店出店
- ・世界かにフェスティバル企画・実行委員
- ・とっとり夢みなと博覧会、市民プロデューサー
- ・世界・梨ドリーム博覧会企画・プロデューサー
- ・2002年とっとり国民文化祭食の祭典実行委員長
- ・東伯プラッツ(地ビール)、とっとり紅茶、花の酒等商品開発
- ・「とっとり大好き」「とっよりは美味しい」の企画デザイン
- ・全国地紅茶サミットの仕掛け人(今年第14回目の開催)
- ・鳥取県経営革新アドバイザー

1. なぜ人材養成が必要なのか

■鳥取市を取り巻く過疎地域・中山間地域の現状と課題

※中山間地域とは、平野の外縁部から山間地を指します。

山地の多い日本では、このような中山間地域が国土面積の73%を占めています

■鳥取市の中山間地域を取り巻く3つの課題

① 人口減少と過疎化の進行

平成27年3月末現在で、鳥取市中山間地域の面積は市域全体の約92%を占め、人口は約50%、世帯数は46.5%と多数を占める。特に世帯数の増加については、合併直後と比較して世帯分離が進んでいることが分かる。

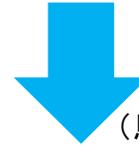
② 少子高齢化の進展

全国同様に、鳥取市においても人口減少や少子高齢化が進展している。特に中山間地域の高齢化率は年々増加し、平成27年3月末に29.1%と全市平均より3ポイント高くなっている。また1人暮らしの高齢者の増加率も、平成17年度に比べて平成23年度で49.4%の増加となっている。

③ 集落の維持が困難

以上のデータから分かる課題は、生活の利便性や職場を求めて中山間地域から都市圏へ転出することによる「人口減少と過疎化の進行」、中山間地域の担い手の高齢化による耕作放棄地の増加などによる農林水産業の衰退や後継者不足など「少子高齢化の進展」と、高齢化やひとり暮らしの高齢者の増加による「集落の維持が困難」など

3つの課題が存在する。



(鳥取市中山間地域対策強化方針をふまえて)

■中山間地域の3つの課題をふまえ
地域の課題を実践的に解決できる
実践者・リーダーの養成が必要

	平成16年12月 合併時	平成27年 3月末	増減率 ポイント増減
市域全体人口	200,532人	191,772人	4.4%減
中山間地域人口	104,252人	95,198人	8.7%減
市域全体世帯数	72,449世帯	78,099世帯	7.8%増
中山間地域 世帯数	33,916世帯	36,342世帯	7.2%増
市域全体 高齢化率	20.8%	26.1%	5.3ポイント増
中山間地域 高齢化率	23.0%	29.1%	6.1ポイント増

2. 実践者・リーダーが目指すものは、地域の活性化 では地域の活性化とは何か？

地域の皆さんがイキイキと元気になること、
やる気・モチベーション・向上心が生まれること。

■ 地域に暮らす人が元気にならなくてはいけない。

■ 人が元気になることで地域が元気になる。

■ 人が元気になると……

人材養成は地方創生のテーマ

■ 集落・地域・まちづくり協議会・NPO等の団体やグループ・人が元気になって自主的に考え、課題解決に立ち向かうことで、住みやすい地方の復権を実現し人口減少（人口流出・少子化）等の解決につながる。

- ・地域が明るくなり、活気が出る
- ・住民同士の結束力や自立性が高まる
- ・地域で仕事ややりがい生まれる
- ・地域から出ていこうと思わなくなる
- ・外から住みたいと思う魅力的な地域に変わる
- ・移住者が増え、家族が増え、地域が生き返る

3. とっとりふるさと元気塾の位置づけ

■とっとりふるさと元気塾は、鳥取市と過疎地域・中山間地域をつなぎ、実践者やリーダーを発見し育て、地域を活性化させる仕組みとして設置

鳥取市

- 担当部局の鳥取市企画推進部地域振興監 地域振興課や各総合支所に求められる対応
- 鳥取市中山間地域対策強化方針のテーマ「暮らしたい、暮らしてみたいふるさと鳥取」の実現を目指し、4つの強化対策に取り組んでいる。この強化対策に関連した過疎地域・中山間地域の活性化に取り組むリーダー・人材養成が急務である。

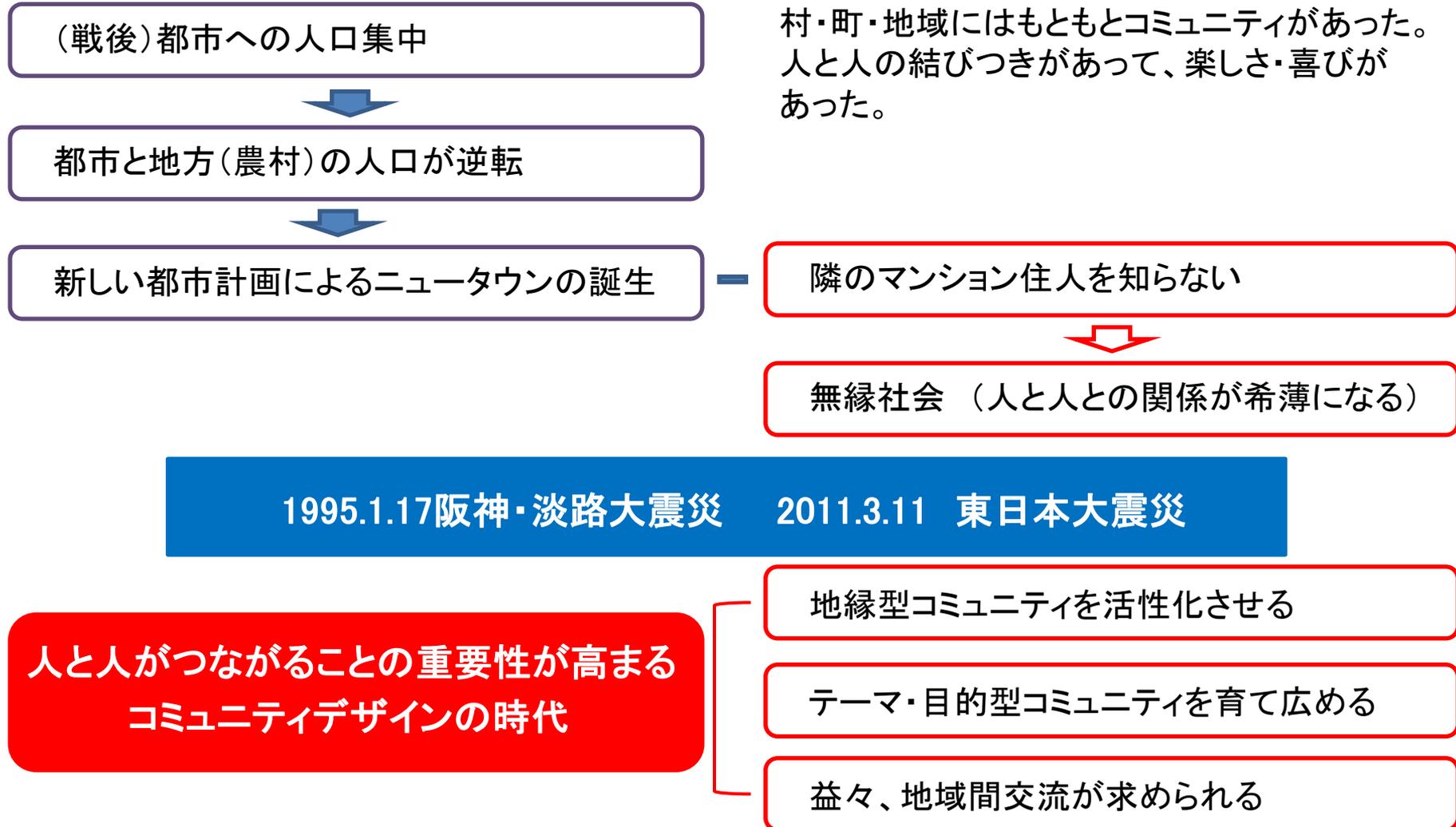
過疎地域・中山間地域

- 鳥取市の過疎地域・中山間地域には、大きく3つの課題が存在する。
①人口減少と過疎化 ②少子高齢化 ③集落維持困難
- 課題を解決する為に、具体的な活動を立ち上げ、自主的に取り組むことのできるリーダー・人材養成が求められている。

とっとりふるさと元気塾

- 具体的で実践的な活動を、主体的に取り組んでいくことのできるリーダーを養成する。
- リーダー・人材養成を計画的に実施することで、地域の活性化を実現する。
- 人材養成に優れた民間事業者のノウハウを活用する。

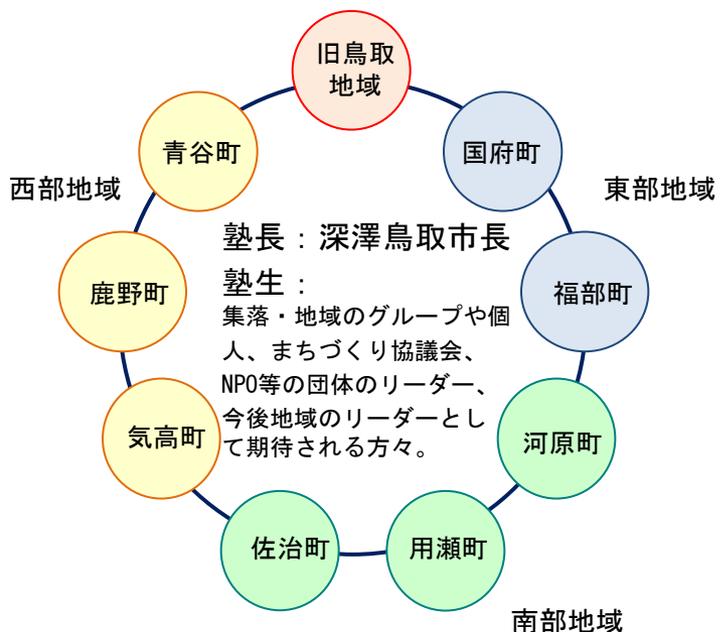
4. 背景として、時代の変化・意識の変化を知ることが重要



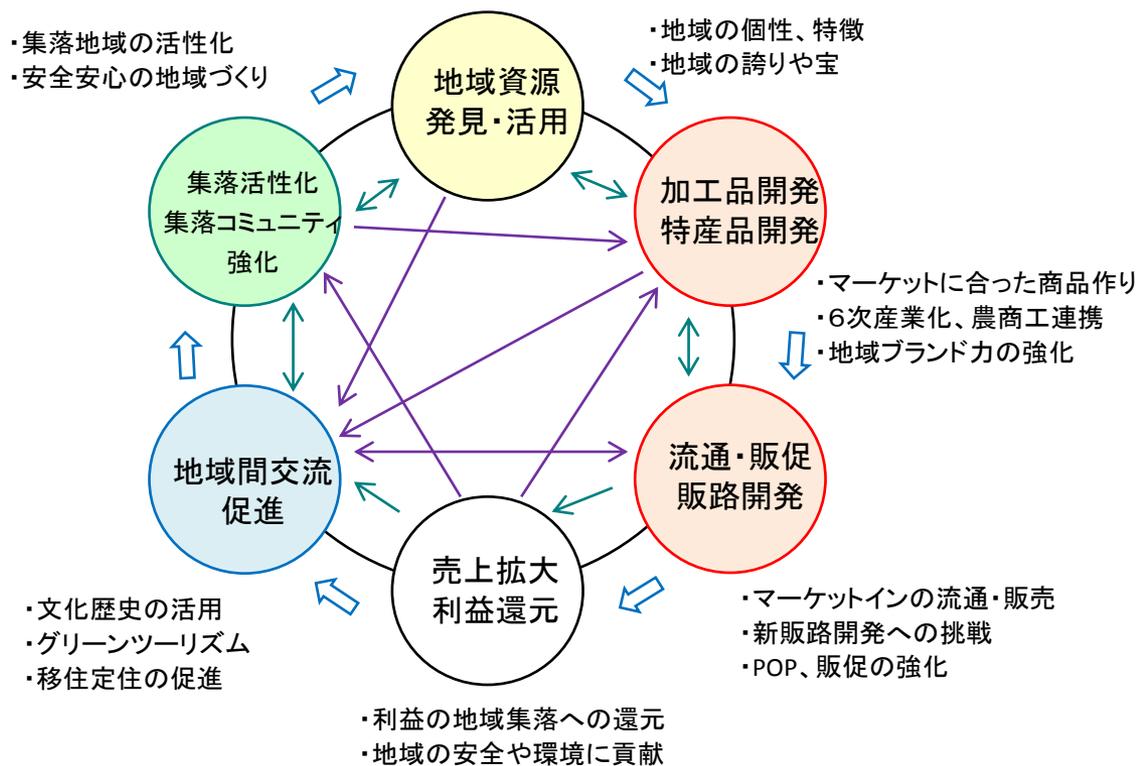
5. とっとりふるさと元気塾の目的と取り組むテーマ課題

- 鳥取市の過疎地域・中山間地域において、人口減少と過疎化の進行、少子高齢化の進展に伴う集落維持の困難などの地域課題に対して、具体的で実践的な活動を自ら主体的に取り組んでいくことのできるリーダーを養成することを目的としている。

とっとりふるさと元気塾の対象地域



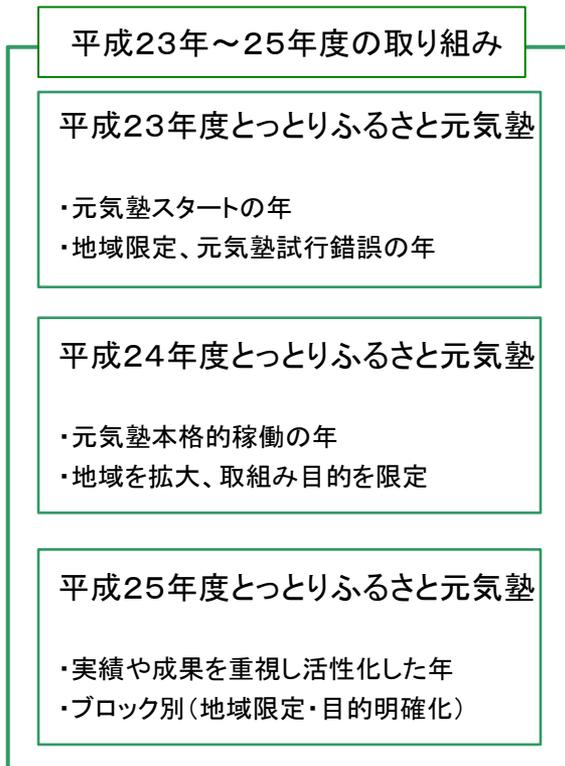
取り組むテーマ課題・総合的連鎖関係図



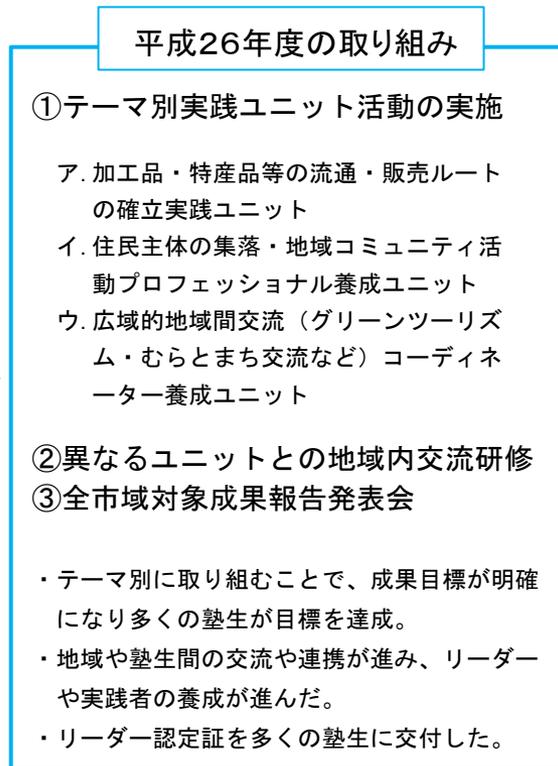
6. とっとりふるさと元気塾の設置・運営の内容

■過去の取り組み実績と成果を活かし、運営・手法を継続することで
着実に人材養成を推進する

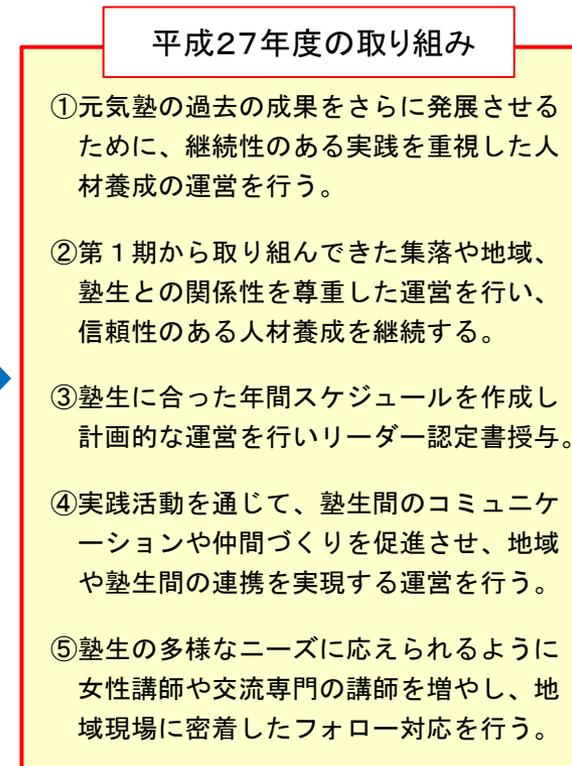
第1期 とっとりふるさと元気塾の成果



第2期 平成26年度の成果



第2期 平成27年度の内容



7. 平成27年度人材養成の指導の方向性と取り組み目標

■ 元気塾に取り組んできた実績や成果を活かした指導と取り組み目標により、塾生が自立した地域リーダーに成長することを目指す

人材養成の指導の方向性

① とっとりふるさと元気塾の過去の実績と成果を活かした人材養成とする

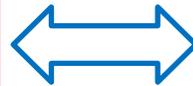
■ 平成23年度、24年度、25年度、26年度の4年間に「とっとりふるさと元気塾」で塾生が取組んだ実績や成果をふまえ、27年度は今まで取組んできた塾生や新しい塾生が、実践者・リーダーとして自立し活動できるよう指導する。

② 中山間地域の課題を実践的に解決し、成果が見える形になるよう指導する

■ 人材養成の要点は、塾生自らが地域の中で実践的に課題を解決できるようになることである。また、塾生の成果を第三者からも見える形にすることが重要である。

③ 塾生が課題とするテーマを解決する為の専門性が高められる内容とする

■ 塾生の取り組む3つのテーマについて、専門的な習熟度を高められ、目標を達成することができるよう指導する。



人材養成の取り組み目標

自主的に実践し、自立した地域リーダーの実現

■ 塾生が取り組む3つのテーマ(特産品開発・集落活性化・地域間交流の促進)を自主的に実践する環境を作り、塾生が自立した活動を通じてリーダーに成長する。

取り組んだ成果が見える講座・カリキュラムを推進

■ 人材養成の取組み成果が見えるよう、数値化や具体的な実績を生み出すための出前養成講座や専門講座の検討と、年間のカリキュラムを計画する。

講師と塾生の信頼感を育てるフォロー対応の推進

■ 塾生と講師が地域の実情や課題についてディスカッションを重ね、相互信頼感を深められるようにフォロー対応を継続的に行う。

8. 平成27年度のとっとりふるさと元気塾の事業内容

■とっとりふるさと元気塾で実施する主要な講座は2つ

地域別出前養成講座とテーマ別専門講座を中心に人材養成事業を推進

地域別出前養成講座の実施

- 4ブロック別(旧鳥取市、東部地域、南部地域、西部地域)にモデル地域を選定し、活動の核となるグループや人材の養成を目指す。
- 地域に出かけて、地域に合ったテーマで講座を開催する。



テーマ別専門講座の実施

- テーマ **ア**
加工品・特産品の開発
- テーマ **イ**
集落活性化・地域コミュニティの強化
- テーマ **ウ**
地域間交流の促進

関連開催事業

開校式の開催

- 平成27年度は7月4日に開催
- 今年度の事業実施計画、実施方針の説明など
- 第1回テーマ別専門講座開催及び導入研修の実施

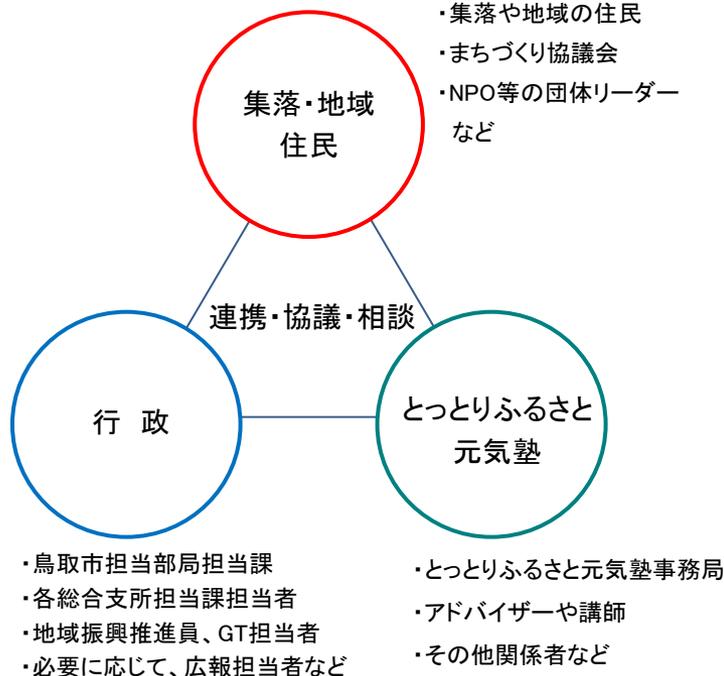
全市域対象公開講座開催 (成果報告発表会の開催)

- 今年度塾生の実績と成果発表
- 元気塾修了者へリーダー認定証を授与
- 元気フェスタを開催し、地域文化の魅力を発信する

9. 地域別出前養成講座の考え方・ねらい・要点

■ 集落や地域の住民・行政・とっとりふるさと元気塾が連携・協議・相談を行い、地域に合った講座を開催

地域別出前養成講座のモデル地域の選定や開催テーマなどの決定については、4ブロック別(旧鳥取市、東部地域、南部地域、西部地域)に集落・地域、行政、とっとりふるさと元気塾が連携・協議・相談を充分に行う。



地域別出前養成講座のねらい・要点

4ブロック別の連携・協議・相談が基本

- ・地域別開催地域の選定や開催テーマについては、あくまでも地域の地域や集落の希望を優先するが、実施にあたっては行政、元気塾事務局との連携・協議・相談により決定する。ブロック別担当者会を開き協議。
- ・すでに活性化している地域ではなく、今後活性化が必要な地域などを対象とする。

地域事情に合った内容で少人数の開催

- ・地域の課題や重要度は様々で、地域によって異なる。開催にあたっては、地域の事情など地域に合った内容・テーマをとりあげ、少人数による講座を中心に開催する。
- ・参加しやすい時間帯や開催場所、開催形式などを地域と一緒に検討し、講演や会議形式ではなく、ディスカッションを中心とする。

出前養成講座の主役は地域の人

- ・地域の課題は、地域の人が解決しなければ活性化は遠い。あくまでも主役は地域住民であり、出前養成講座でも地域の人が主役になるような進进行を心がける。
- ・出前養成講座の目的は、地域活動の核となるグループや個人のリーダー養成である。講座を通じリーダーの発見につなげる。

フォロー対応により成果につなげる

- ・出前養成講座の開催は、あくまでも活性化のきっかけにすぎない。講座を通して知り合ったグループや個人がリーダーとして成長するために、その後のフォロー対応を行い具体的な成果につなげる。
- ・フォロー対応により、テーマ別専門講座やネットワーク形成などと連携させる。

10. 地域別出前養成講座の講座スタイル・開催地域

■ 地域別出前養成講座の実施スタイルと開催地域での内容案

地域別出前養成講座のスタイル

① 皆で考えるワークショップ型の講座

- ・高齢化や人口減少が進む中、何を始めればいいのか分からず課題だけが残されている地域がある。まず話し合うことから始め、皆で考えることを主にしたワークショップ型の講座を開催する。

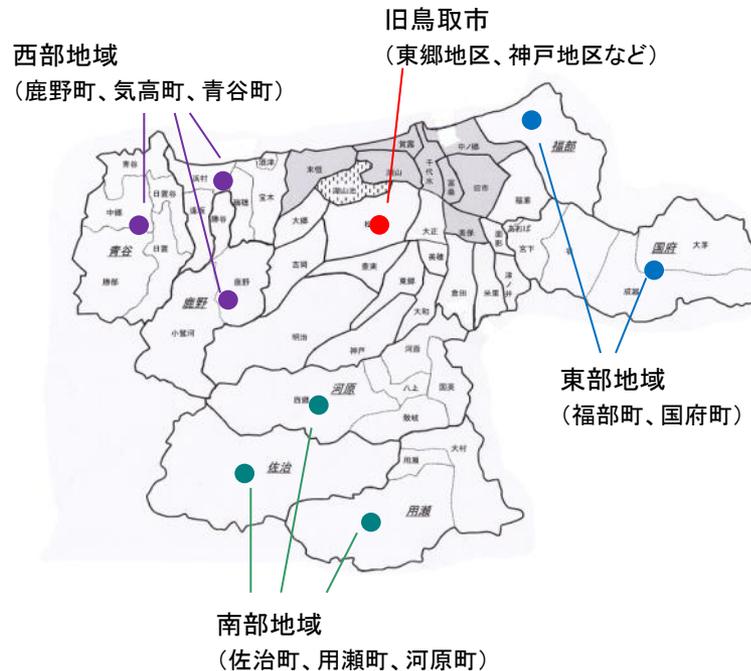
② 具体的なテーマ設定型の講座

- ・今まで取り組んできた塾生の中で、次のステップに進もうとしている塾生やグループもいれば、課題やテーマをこれから解決していこうという段階の塾生やグループもいる。それぞれの段階や条件に合ったテーマを設定した講座を開催する。

③ 地域の状況に合った少人数型の講座

- ・元気塾や行政が主導するのではなく、主体は地域住民で、地域の状況や事情を優先した講座とする。人数を多く集めるのではなく、少人数による実質的な内容を重視し、開催時間や場所についても十分に考慮した講座とする。

地域別出前養成講座の開催場所 (ブロック別4地域)



開催地域の検討

(主体となる集落・地域、グループ・団体など)

■ 旧鳥取市(東郷地区、神戸地区など)

- ・神戸地区公民館、岩坪集落、新緑の会
- ・東郷地区公民館、とうごう未来応援隊
- ・河内集落、高路集落、その他まち協など

■ 東部地域(福部町、国府町)

- ・福部海士を元気にしよう会、楽居大学
- ・雨滝集落、上地集落、成器地区公民館
- ・吉野集落、中河原集落、宮下地区など

■ 南部地域(佐治町、用瀬町、河原町)

- ・加瀬木地区、クラフト工房ローダンセ
- ・ときわ流しびなの会、江波集落、用瀬地区
- ・小河内集落、神馬集落、国英地区など

■ 西部地域(鹿野町、気高町、青谷町)

- ・小鷲河ふる里をまもる会、鬼入道集落
- ・逢坂地区公民館、日光地区、酒津
- ・井手が浜地区、絹見引地集落、日置地区

11. 平成27年度の地域別出前養成講座の実施内容(1)



平成27年度 鳥取市過疎地域・中山間地域人材養成事業
とっとりふるさと元気塾 地域別出前養成講座

河原町国英地区での出前養成講座の開催案内

「国英地域の宝を発見し活かす」

開催日 / 平成 27 年

7月31日(金)

19:00 ~ 20:30 (受付 18:30 ~)

会場 / 河原町 国英地区公民館

〒680-1211 鳥取市河原町山手 459-1



参加者募集中!
(参加費無料)



みこいね 御子岩のしめ縄飾り

とっとりふるさと元気塾の塾生の皆様及び
集落・地域で活動されている皆様へ
地域別出前養成講座の開催をご案内いたします。
開催地域は河原町国英地区です。
国英地区は霊石山を地域のシンボルとして
御子岩のしめ縄飾りや郷原の伝説「龍緑石」等
貴重な歴史文化を今に伝えている地域です。
また、三谷のしだれ桜や鳥取市の指定文化財に
なった樹齢約480年の国英神社の大イチョウ
をはじめ豊かな自然と風土に守られた地域です。
国英地域の宝物である地域資源を再発見し
それらを活用するためにどうすればよいか
地域の住民の皆さんと一緒に考え学びます。
ぜひご参加いただけますよう
ご案内申し上げます。

主催：鳥取市

※平成27年度 鳥取市過疎地域・中山間地域人材
養成事業「とっとりふるさと元気塾」は、合同
会社コミュニティデザイン工房が鳥取市より
事業を受託しています。

※写真は国英地区公民館のホームページのものです。

■開催方針・達成目標

- ・地元の地域資源を活かし集落及び地域
コミュニティの活性化を図る
- ・霊石山を中心とした地域資源を活用し、
観光と地域間交流につなげる為の方法
などを探る



平成27年度 鳥取市過疎地域・中山間地域人材養成事業
とっとりふるさと元気塾 地域別出前養成講座

福部町浜湯山集落での出前養成講座の開催案内

「浜湯山の観光資源を再発見し地域を活性化」

開催日 / 平成 27 年

8月20日(木)

19:00 ~ 21:00
(受付 18:30 ~)

会場 / 福部町 浜湯山公民館

〒689-0105 鳥取市福部町湯山 57-1



参加者募集中!
(参加費無料)



たがけい 多鯨ヶ池

とっとりふるさと元気塾の塾生の皆様及び
集落・地域で活動されている皆様へ
地域別出前養成講座の開催をご案内いたします。
開催地域は福部町浜湯山集落です。
浜湯山集落は、鳥取を代表する砂丘をはじめ
らっきょうや二十世紀梨など、美しい自然と
豊かな滋味にあふれた地域です。
また、多鯨ヶ池には「お種弁財天伝説」が伝わる
など、歴史・文化の香りが残っています。
砂丘・らっきょう・二十世紀梨・多鯨ヶ池・
お種弁天などの観光資源を再発見し、地域の観光
と交流をテーマとして地域の活性化を図るため
にはどうすればよいか。
地域の住民の皆さんと一緒に考え学びます。
ぜひご参加いただけますよう
ご案内申し上げます。

主催：鳥取市

※平成27年度 鳥取市過疎地域・中山間地域人材
養成事業「とっとりふるさと元気塾」は、合同
会社コミュニティデザイン工房が鳥取市より
事業を受託しています。

■開催方針・達成目標

- ・浜湯山集落の観光資源を再発見し地域の活
性化を図る
- ・多鯨ヶ池を中心に梨やらっきょうの花などを
活用し、観光と交流をテーマに進める

12. 平成27年度の地域別出前養成講座の実施内容(2)



平成27年度 鳥取市過疎地域・中山間地域人材養成事業
とっとりふるさと元気塾 地域別出前養成講座

気高町逢坂地区での出前養成講座の開催案内

「逢坂地区の連携を進め地域を活性化」

開催日 / 平成27年

9月25日(金)

14:00 ~ 16:30
(受付 13:30 ~)

会場 / 気高町 逢坂地区公民館

〒689-0345 鳥取市気高町山宮 637-4



参加者募集中!
(参加費無料)



講師：若松 進一

愛媛県伊予市双海町出身。
真似しない、真似できない
アイデアで地域力を作り上げる
観光カリスマ。
夕焼けプラットホームコン
サートを開催し、夕日とい
う価値を全国レベルに押し
上げた仕掛け人。

とっとりふるさと元気塾の塾生の皆様及び
集落・地域で活動されている皆様へ
地域別出前養成講座の開催をご案内いたします。
開催地域は気高町逢坂地区です。
逢坂地区には、布勢の清水で有名な殿集落の活動
や会下集落のうぐい突き保存会の活動、有機の里
づくり、ふれあいのまちづくりなどの
独自の取り組みがあります。
これらの地域活動の連携や、地域の拠点づくりの
推進などを通じて、逢坂地区全体の活性化に
つなげるにはどうすればよいのかを、
地元活動団体や住民の皆様と一緒に
考え学びます。
ぜひご参加いただけますよう
ご案内申し上げます

主催：鳥取市

※平成27年度 鳥取市過疎地域・中山間地域人材
養成事業「とっとりふるさと元気塾」は、合同
会社コミュニティデザイン工房が鳥取市よ
り事業を受託しています。

■開催方針・達成目標

- ・逢坂地区には名水で有名な殿集落や会下
集落のうぐい突き保存会の活動、有機の里
づくりなど独自の活性化の取り組みをしている
- ・これらの活動を連携させることで、地区全体の
活性化につなげたい



平成27年度 鳥取市過疎地域・中山間地域人材養成事業
とっとりふるさと元気塾 地域別出前養成講座

国府町大茅地区での出前養成講座の開催案内

「大茅地区の地域資源を活かし地域を活性化」

開催日 / 平成27年

10月1日(木)

19:00 ~ 21:00
(受付 18:30 ~)

会場 / 国府町 おおかや交流館
(旧 大茅小学校)

〒680-0206 鳥取市国府町橋本 463



参加者募集中!
(参加費無料)



雨滝

とっとりふるさと元気塾の塾生の皆様及び
集落・地域で活動されている皆様へ
地域別出前養成講座の開催をご案内いたします。
開催地域は国府町大茅地区です。
大茅地区には、日本の滝100選に数えられてい
る雨滝や昭和10年に国指定になった栃本廃寺跡、
夫婦杉と呼ばれる大杉がある木原神社、巨石が村
のシンボルとなっている大石など、歴史・文化の
香りが残っている集落が多くあります。また、新
たな地域活性化策としてホテルの里づくり計画も
進められています。
これらの大茅地区の地域資源を活かし、地域の活
性化を図るためにはどうすればよいのか。
地域の住民の皆様と一緒に考え学びます。
ぜひご参加いただけますよう
ご案内申し上げます。

主催：鳥取市

※平成27年度 鳥取市過疎地域・中山間地域人材
養成事業「とっとりふるさと元気塾」は、合同
会社コミュニティデザイン工房が鳥取市よ
り事業を受託しています。

■開催方針・達成目標

- ・大茅地区の地域資源を活用して地域の活性化
を図る
- ・栃本廃寺とホテルの里づくり、雨滝を連携させ
た取り組みを推進

13. 成功例や取り組み事例から学ぶべきことは何か

地域活性化の取り組みは全国に多数ある。
成功といわれる事例もあるが、本当に役に立つのか？

■ 成功事例

滋賀県長浜の黒壁の取り組み

鳥取県境港の水木しげるロード

三重県伊賀の里モクモク手づくりファーム

大分県豊後高田市の昭和の町づくり

鳥取県倉吉の赤瓦、などなど

< 特産品 >

徳島県上勝町の葉っぱビジネス(株いろどり)

兵庫県多可町のマイスター工房八千代の巻き寿司

などなど

○真似をして成功した所は無い

○成功事例は聞いて面白いだけ

○そのまま真似ても失敗する



★成功した人の覚悟を聞く

★工夫した所、悩みは参考になる

★成功の仕組みを分析し考える



オリジナルワンを目指せ

14. 金子みすず的 地域づくり(地域活性化)

大正末期～昭和の初めにかけて活躍した童謡詩人(1903～1930)

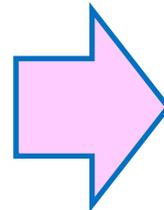
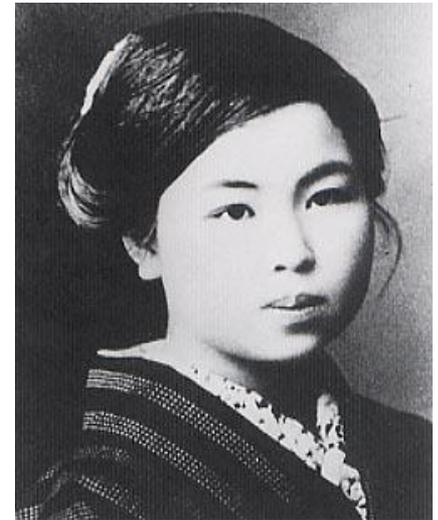
こだまでしょうか ACのCMで有名に

私と小鳥と鈴と

私が両手をひろげても、
お空はちっとも飛べないが、
飛べる小鳥は私のように、
地面（じべた）を速くは走れない。

私がからだをゆすっても、
きれいな音は出ないけど、
あの鳴る鈴は私のように
たくさんの唄は知らないよ。

鈴と、小鳥と、それから私、
みんなちがって、みんないい。



地域づくりは人それぞれ
自分にしかできないものを
同じ地域づくりはありません
ここにしかない地域づくりを

15. テーマ別専門講座の考え方・ねらい・要点

■ 専門講師により塾生のテーマ別専門性を高め、見える成果に結びつくように講座を運営

テーマ別専門講座のねらい・要点

成果に結びつけて見える形にする

- ・取り組みのゴールを抽象的なものに終わらせないために、塾生が今まで取り組んできたテーマ・内容をさらに進め、具体的な目標を設定し、成果に結び付けられるような専門講座を開催する。
- ・成果の見える化によって、達成感が湧き、地域の中で評価されるリーダーに育つ。

学びと実践・県外研修など具体化重視

- ・自分で考える学びと実践や行動による専門講座を目指している。テーマごとに関連したカリキュラムを設定し、カリキュラムを通して塾生のスキルや習熟度を深める。
- ・具体的な実践を重視し、販売実習などで県外研修も検討する。個別相談や少人数のディスカッション方式で講座を運営。

専門講師による専門性を高める講座

- ・成果に結びつけるためには、各テーマの専門性や高度化に取り組む必要がある。元気塾の講師は各テーマの実践者であり他地域の成功事例や失敗例をよく知っているので、効果的な課題解決の診断・相談に応えられる。
- ・年間に必要に応じて、専門講座を3回以上開催し、塾生の目標達成につなげる。

専門講師によるフォロー対応を実施

- ・塾生に年間目標を設定してもらい、達成状況の分析や反省を基に次のステップにつながるようアドバイスを行う。
- ・講座を開催すれば目標が達成されるわけではない。塾生の取り組みが達成されるように、専門講師によるフォロー対応を継続的に実施し具体的な成果を実現する。

テーマ別専門講座3テーマの目標

ア： 加工品・特産品の開発

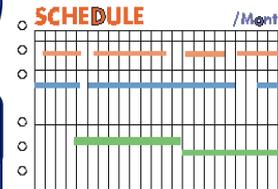
- 加工品・商品開発を促進させ、パッケージやラベルなどの商品完成度を高める。
- 販路の開拓や新しい流通に挑戦し、グループや個人、集落の利益につなげる。
- 6次産業化や農工商連携などを進め、ビジネス化による経営の強化を目指す。

イ： 集落活性化・集落コミュニティの強化

- 地域資源の再発見を強化し、集落の強みにつながる取り組みをスタートする。
- 名水やオーガニックなど、同じテーマを持つ集落との連携を進めることで活性化を図る。
- 集落ごとに強化テーマを設定して取り組む。

ウ： 地域間交流の促進

- 空き家の活用やグリーンツーリズム、文化や歴史など集落・地域の特性を活かした交流事業に取り組むことで活性化を図る。
- 農家レストランやカフェなど、農業の取り組みを移住定住につなげる活動にも挑戦する。



16. テーマ ア 「加工品・特産品の開発」の考え方、手法

■売れる商品の実現や、新しい産業に結びつけるために専門性を高める講座

テーマ ア の課題背景

- ・ 専業でなく家庭や仕事があるため大量生産・大量販売の仕組みにつながらない。
- ・ 地域イベントでの販売レベルで、特産品（売れる商品）に結びついていない。
- ・ HP作成やPOPなど商品説明用販促物などが不十分で、販売につながらない。
- ・ 利益率の考えがなくビジネス化が必要。



「加工品・特産品の開発」を具体化した専門講座塾

売れる商品・売る仕組みづくり元気塾

専門講座のテーマ・内容

売れる商品企画・販売企画の強化

- ・ 餅や甘酒、ホンモロコの商品化

魅力的なパッケージ・ラベルデザイン

マーケティング・販路開拓・利益向上

- ・ まちなかマルシェ、販売調査実施

首都圏・近畿圏との販売連携の促進

- ① 売れる商品にするため商品クリニックを実施。アイデア力強化や商品企画・販売企画などを作成するノウハウを習得する。
- ② 商品力を高めるデザイン面の強化、チラシ・POPの作成講座で競争力を付ける。
- ③ 売るための市場調査や市街地での販路開拓を行い、実質的な利益向上につなげる。
- ④ 市内の販売ルート以外の販売ルートの開発、販路開拓による販売増を目指す。（東京アンテナショップや関西本部など）

魅力特産品開発・販売拡大元気塾

専門講座のテーマ・内容

健康・美容関連のマーケットイン

- ・ ハーブや生姜、コンヤクの商品化

生産・加工・販売の連携強化

- ・ らっきょう商品の展開など

新ルート開発と元気マルシェの開催

6次産業化・農工商連携事業の推進

- ① 新しい商品マーケットや商品ジャンルに取り組むことで競争力を強化する。ハーブや薬草など健康や美容関連商品を推進。
- ② 塾生それぞれの強みを活かし、農産物生産と加工業、販売の連携など作業分担を進めることで地域競争力を高める。
- ③ 独自の販売取り組みや新ルート開発を目指し、元気マルシェなどを開催する。
- ④ 鳥取県産業振興機構などを活用し新ビジネス化を推進することで、産業に結びつき経済効果や新たな雇用の創出を図る。

17. 平成27年度のテーマ別専門講座・テーマAの実施内容



平成27年度 鳥取市過疎地域・中山間地域人材養成事業
とっとりふるさと元気塾テーマA 加工品・特産品の開発

売れる商品づくりをテーマとした専門講座の開催案内

「商品力を強化し販売拡大」

開催日 / 平成27年

7月27日(月)

14:00 ~ 16:00

(受付 13:30 ~)

会場 / 河原町 遠足文庫 (旧八上保育園)

〒680-1222 鳥取市河原町曳田 740

参加者募集中!
(参加費無料)



とっとりふるさと元気塾の塾生の皆様及び
集落・地域で活動されている皆様へ
テーマ別専門講座の売れる商品づくり講座の
開催をご案内いたします。

テーマは「商品力を強化し販売拡大」です。
販売を拡大し利益を上げるためには
商品のパッケージやラベルデザインを見直し
今の時代に合う商品に仕上げ
お客様に喜ばれる商品にすることが必要です。
商品パッケージと商品デザインについて
指導とアドバイスを致しますので
ぜひご参加いただけますよう
ご案内申し上げます。

主催：鳥取市

※平成27年度 鳥取市過疎地域・中山間地域人材
養成事業「とっとりふるさと元気塾」は、合同
会社コミュニティデザイン工房が鳥取市よ
り事業を受託しています。



■売れる商品づくり講座塾

開催日：7月27日(月)14:00~

開催場所：河原町 遠足文庫

テーマ：商品力を強化し販売拡大

内容：アイデア力、商品企画力、パッケージ、

ラベルデザインの強化・実習



平成27年度 鳥取市過疎地域・中山間地域人材養成事業
とっとりふるさと元気塾テーマA 加工品・特産品の開発

魅力特産品の開発をテーマとした専門講座の開催案内

「ハーブを活用し新商品開発」

開催日 / 平成27年

8月11日(火)

14:00 ~ 16:00

(受付 13:30 ~)

会場 / 気高町 飯里公民館

〒689-0343 鳥取市気高町飯里 74-2

参加者募集中!
(参加費無料)



とっとりふるさと元気塾の塾生の皆様及び
集落・地域で活動されている皆様へ
テーマ別専門講座の魅力特産品の開発講座の
開催をご案内いたします。

テーマは「ハーブを活用し新商品開発」です。
今、ハーブがブームになっています。
ハーブは健康と癒しの植物で、ハーブを活用
した多くの商品が身近にあふれています。
ハーブの魅力に着目し、ハーブ栽培から
アロマテラピーまで、新商品開発の可能性に
ついて、ハーブとアロマテラピーの専門講師
による指導とアドバイスを致しますので
ぜひご参加いただけますよう
ご案内申し上げます。

主催：鳥取市

※平成27年度 鳥取市過疎地域・中山間地域人材
養成事業「とっとりふるさと元気塾」は、合同
会社コミュニティデザイン工房が鳥取市よ
り事業を受託しています。



■魅力特産品の開発講座塾

開催日：8月11日(火)14:00~

開催場所：気高町飯里公民館

テーマ：ハーブを活用し新商品開発

内容：健康と癒しの農産物、ハーブの栽培と

その効果を活用した商品化を目指す

18. いままでに取り組んだ内容・成果の参考事例(1)

特産品開発と流通	テーマ	取組みグループ・個人・地域
	食品開発	福部アイデア館
福部地域	成果の要点	<ul style="list-style-type: none"> ● 福部の特産品らっきょうを使った新商品化に挑戦。 ● 新商品「らっきょうの花びら」の開発・展開中。
	取組み成果	<ul style="list-style-type: none"> ● 鳥取市福部町特産のらっきょうを活用した新商品開発を目指して、福部アイデア館運営協議会の皆さんを中心に、メンバーが昨年度より継続的に取組み商品化にチャレンジしている。 ● 「らっきょうの花びら」と名付けた甘酢漬け商品と、らっきょうの花びらをふくじん漬けに混ぜた新商品などを開発し販売スタートしている。 ● 売れる商品づくりをするためにマーケティングを実施した。代官山マルシェでの商品販売調査の他、旧サンドバルで試食販売を実施した。 ● 新商品開発を通じて、福部アイデア館の皆さんのやる気や挑戦する意欲が高まったことが大きい成果である。
現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> ● 福部アイデア館は平成10年にオープンした加工施設で、利用者は地元の複数の加工グループである。らっきょうの甘酢漬けや味噌、漬物、ドレッシング、せんべいなど多くの加工品を製造販売している。 ● オープン当時と比べるとグループ員が高齢化して作業面の調整が難しくなってきたことが課題。また利益の面では、多くの商品の中から見直しをして、利益が残る商品を作りたいと思っていた。 ● 福部特産のらっきょうを使い、地元の観光土産になるようなアイデア館らしい新しい商品を作りたいと思っていた。 	
取組み内容	<ul style="list-style-type: none"> ● りっきょうの甘酢漬けを製造する時に出る、らっきょうの皮の部分を利用して新しい商品化をしようと昨年度から継続して取組んできた。 ● りっきょうの皮の一枚一枚の形が、らっきょうの花びらのイメージだったので、商品名を「らっきょうの花びら」と名付けた。また、らっきょうの花の色と同じ赤紫色に着色し新商品化を推進。 ● りっきょうの甘酢漬け以外に、ふくじん漬けにらっきょうの花びらを混ぜた商品展開も図った。代官山マルシェに出品したところ非常に好評だったので、今後もマーケティングを続けていきたい。 	
今後の取組み	<ul style="list-style-type: none"> ● 新商品らっきょうの花びらの製造体制を早く確立して、サンドバルなど地域拠点での試食販売を実施し売上げアップ・利益増を目指したい。 ● 鳥取、福部といえばらっきょうと言われるくらいブランド化が進んでいる。ブランドにこだわり、らっきょうの花びらを活用した漬物類やおかず味噌など関連の新商品化・商品展開を目指していく。 ● 高齢化に負けず続けて仕事に励むためにも、利益率の高い商品化と販売の拡大による利益の確保が重要である。福部アイデア館メンバーの力を合わせて、皆が元気の取組みにつなげていきたい。 	

特産品開発と流通	テーマ	取組みグループ・個人・地域
	食品開発	小河内マドンナ隊
河原地域	成果の要点	<ul style="list-style-type: none"> ● 河原町西郷地区小河内集落の女性有志が集まり、加工グループ「マドンナ隊」を結成して地域の元気を発信。 ● 地元のもち米を使い、「かき餅」や「やわらか餅」をテーマに新商品を開発し販売。
	取組み成果	<ul style="list-style-type: none"> ● 約2年前、鳥取市河原町小河内集落の女性加工グループを結成し、地元の食材（もち米）を使って加工品を作った活動を開始した。地元グループができ、皆が協力して商品開発できたことが大きな成果。 ● 地元のもち米である満月米を使った餅の加工品を開発。最初は、かき餅をテーマに商品化に取組み、昨年度からは一年中食べられる餅をテーマに「やわらか餅」を開発し「やわらか姫もち」とネーミングした。 ● 地元の野菜にこだわって使った野菜かき餅などの新商品開発の他に、やわらか姫もちの、新パッケージ・ラベル開発に取組んだ。 ● 代官山マルシェでのマーケティングをはじめ、神戸のいしはら商店やかわはら道の駅や鳥取砂丘サンドバルでも販売をしており大変好評。
現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> ● 小河内には天皇陛下がお田植え祭、収穫祭をされる時に使われるもち米の満月米があり、集落ではつき餅・あん餅づくりをしていた。 ● 地域には加工グループがなかった。そこで集落の女性有志が集まり、地元の満月米を活用した加工品作りをしようという機運が高まった。満月というイメージにこだわって丸い形状を作るのに苦労した。 ● 最初かき餅を作り販売し、その後地元の野菜にこだわった野菜かき餅を開発した。さらに新商品として一年中販売できる餅を開発したいと思ったが、初めてのことでうまく進まなかった。 	
取組み内容	<ul style="list-style-type: none"> ● 丸いかき餅、野菜かき餅を開発して地元の道の駅で店頭販売を行った。形状の面白さ、野菜の色の美しさで人気が出て販売も好評だった。 ● 冬のシーズンを過ぎると売れなくなるので、一年中売れる餅を研究した結果、やわらか餅を思いついて開発した。最初はうまく進まなかったが試行錯誤の結果商品化に成功、やわらか姫もちとネーミングした。 ● 商品のパッケージやラベルが中途半端だったので、ラベルデザインを見直し、パッケージを新しくした結果さらによく売れるようになった。県内外への販売拡大を目指したいと思っている。 	
今後の取組み	<ul style="list-style-type: none"> ● 小河内集落の中から生まれた取組みなので、集落から理解していただき、応援していただけるように地域への情報発信と何らかの地域還元ができればと思う。いつか自分達の加工場を実現したいと思っている。 ● パッケージとラベルデザインをさらに魅力的にし、全国どこに持っていったって恥ずかしくない物に仕上げたい。販売先が、道の駅や市内の販売施設・神戸のいしはら商店まで広がってきたので販売計画が重要。 ● なんといってもマドンナ隊のグループ員の結束を強固にしていきたいことが大切。労費・利益の分配、将来計画について常に相談して進めたい。 	

19. いままでに取り組んだ内容・成果の参考事例(2)

特産品開発と流通

鹿野地域



3種類のハーブ紅茶

テーマ	取組みグループ・個人・地域
食品開発	すずかけ
成果の要点	<ul style="list-style-type: none"> ●都市緑化フェアでサービスされたハーブ紅茶の袋入れ作業の習得から、オリジナルのハーブ紅茶を商品化。 ●商品企画の作成、3種類の商品のネーミング、ラベルデザイン作成、価格設定、販売促進など独力で推進。
取組み成果	<ul style="list-style-type: none"> ●平成25年鳥取都市緑化フェアのティーガーデンでサービスされた3種類のハーブ紅茶の商品づくりの経験を通じてハーブの知識を習得した。 ●ハーブ紅茶の商品企画書を作成し、オリジナルハーブの実現に向けて活動した。元気塾の大阪方面への県外研修に参加し、ハーブ専門店の視察などを通してハーブマーケットを自主的に研究した。 ●3種類のハーブ紅茶の製造に着手し、ラベルやパッケージデザインについても、自分で検討し制作した。 ●大阪千里ピーコックでの鳥取物産展でのマーケティング販売や地元の鹿野町往來交流館、かわはら道の駅で販売し販路拡大に取組んでいる。

現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> ●すずかけは鹿野地域の障害福祉サービス事業所で、「地域とともに働く喜び、つながる心」をキャッチフレーズに地域の人々に愛され、貢献できる事業所として農水産品加工や受託軽作業などを行っている。 ●東北で身近な海産物として食されている「あかもく」を製造。全国的な知名度はまだだが、健康志向のお客様から評価を得ている。 ●あかもくをはじめとした現在製造している加工食品は、一定の需要があるものの、顧客のターゲットとなる年齢層が比較的高いものが多く、販売層に偏りがある。より多くのニーズのある新商品の開発が必要。
取組み内容	<ul style="list-style-type: none"> ●平成25年鳥取市で開催された鳥取都市緑化フェアのティーガーデンで使用するハーブ紅茶の袋入れ作業を受託し紅茶作業のノウハウを習得。 ●紅茶の会とのコラボがスタート。企画書を作成し商品化に向け動き始めた。元気塾の県外視察に参加し、大阪でハーブ専門店を視察、都会でのハーブのニーズの高さを認識。パッケージデザインや販売形態をリサーチし、商品開発にフィードバックさせた。 ●市場調査を兼ねて千里のピーコックで開催された鳥取物産展にて販売開始。現在、鹿野往來交流館里夢やかわはら道の駅で販売中。
今後の取組み	<ul style="list-style-type: none"> ●販路開拓に取組み販売を拡大するためには、売れる商品づくりが必要。商品のブラッシュアップと販路の拡大を行いたい。 ●地元鹿野の特産物「苺生姜」を使用したオリジナルのハーブ紅茶をつくり、地域資源を活用したより地域性のある商品開発を行う。 ●全国には、国産ハーブを栽培し地域の特産品にして販売している地域がある。健康志向の社会ニーズにも合っているため、将来、鹿野地域の農地にハーブを栽培し国産ハーブを特産品にできないか検討中。



すずかけでの作業の様子



緑化フェアでのハーブ紅茶サービス



ラベルのデザイン検討



かわはら道の駅での販売

特産品開発と流通

佐治地域



代官山マルシェでの販売



鳥取中心市街地での販売

現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> ●かみんぐ百貨は平成23年7月に誕生した。佐治町の土産物や野菜などを兼売し、会員約70人が出品する四季折々の農産物や加工品・木工製品などを販売している。 ●農産物を中心に地域の特産品や加工品などの出品があるが、来客数が伸びておらず販売にも課題があるという状況である。販売が伸びない出品者と出品数も減り、全体のバランスがとれなくなる。 ●イベントを開催すれば集客はあるが、リピーターにつながらないので、継続的な広報活動や情報発信の確立が急がれる。
取組み内容	<ul style="list-style-type: none"> ●佐治地域だけでなく、県外や大都市圏（東京・関西）、鳥取中心市街地への販売拡大が必要。鳥取市内のカフェでの販売にも取組んだ。 ●平成24年から元気塾の企画する東京の代官山マルシェに野菜を中心に出品した。新しい販売ルートの開発のための取組みに挑戦した。 ●東京は、西日本の野菜が少ないため佐治の野菜に興味を持っていただけだと思う。評判が良く出した野菜類は売れた。代官山マルシェ自体が日常の市場感覚なので生鮮食品がよく売れた。
今後の取組み	<ul style="list-style-type: none"> ●代官山マルシェは、月に一度の開催のため常時の販売には結びつかない。主な目的はマーケティング調査である。東京地域で売れるなら関西や鳥取中心市街地などで販売場所を増やしていくことも可能である。 ●代官山マルシェをきっかけとして、販売拡大の方法に取組んでいきたい。東京以外に鳥取中心市街地での販売場所を増やしていきたいと思う。 ●かみんぐ百貨での販売方式以外の販売を検討中。例としてインターネット販売などがあるが、百貨であるものに取組みたい。顧客管理や固定客・リピーターの確保、広報紙などの活用も必要。

テーマ	取組みグループ・個人・地域
販売拡大	かみんぐ百貨
成果の要点	<ul style="list-style-type: none"> ●平成24年から東京の代官山マルシェなどに出品し、販売拡大のためのマーケティング調査を実施継続中。 ●佐治地域以外での販売拡大を目指す。大都市圏や鳥取中心市街地での販売やインターネット販売などを検討。
取組み成果	<ul style="list-style-type: none"> ●地元の佐治地域以外での販売拡大や、直売以外の販売方法の確立を目指して元気塾に参加し取組んでいる。 ●平成24年、25年に元気塾が企画した東京代官山マルシェに積極的に出品した。マルシェでは生鮮食品が人気で、出品した野菜類は全て売れた。マーケティングの結果、マルシェは日常の市場感覚なので鮮度を重視した売り方が求められると感じた。 ●直売以外の販売を検討実施した。マルシェを運営する会社を持つインターネット販売サイトへの取組みへの検討の他、顧客管理や固定客の確保の必要から、鳥取中心市街地での販売にも取組んでいる。

現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> ●かみんぐ百貨は平成23年7月に誕生した。佐治町の土産物や野菜などを兼売し、会員約70人が出品する四季折々の農産物や加工品・木工製品などを販売している。 ●農産物を中心に地域の特産品や加工品などの出品があるが、来客数が伸びておらず販売にも課題があるという状況である。販売が伸びない出品者と出品数も減り、全体のバランスがとれなくなる。 ●イベントを開催すれば集客はあるが、リピーターにつながらないので、継続的な広報活動や情報発信の確立が急がれる。
取組み内容	<ul style="list-style-type: none"> ●佐治地域だけでなく、県外や大都市圏（東京・関西）、鳥取中心市街地への販売拡大が必要。鳥取市内のカフェでの販売にも取組んだ。 ●平成24年から元気塾の企画する東京の代官山マルシェに野菜を中心に出品した。新しい販売ルートの開発のための取組みに挑戦した。 ●東京は、西日本の野菜が少ないため佐治の野菜に興味を持っていただけだと思う。評判が良く出した野菜類は売れた。代官山マルシェ自体が日常の市場感覚なので生鮮食品がよく売れた。
今後の取組み	<ul style="list-style-type: none"> ●代官山マルシェは、月に一度の開催のため常時の販売には結びつかない。主な目的はマーケティング調査である。東京地域で売れるなら関西や鳥取中心市街地などで販売場所を増やしていくことも可能である。 ●代官山マルシェをきっかけとして、販売拡大の方法に取組んでいきたい。東京以外に鳥取中心市街地での販売場所を増やしていきたいと思う。 ●かみんぐ百貨での販売方式以外の販売を検討中。例としてインターネット販売などがあるが、百貨であるものに取組みたい。顧客管理や固定客・リピーターの確保、広報紙などの活用も必要。

公民館マルシェに挑戦



若葉台と遷喬公民館で毎月実施中



20. テーマ イ 「集落活性化・地域コミュニティの強化」の考え方、手法

■ 地域資源の再発見や活用により集落の若手リーダーや新リーダー発見

テーマ イ の課題背景

- ・ 若者の参加が課題、これからの世代を対象とした取り組みと若手リーダー養成が必要。
- ・ 取り組むきっかけのない地域の課題発見や話し合いの少ない地域の活性化が必要。
- ・ まち協などの参加者が役員に限定され、数年で役員が交代するためリーダーが育ちづらく取り組みが長続きしない事情がある。



「集落活性化・地域コミュニティの強化」を具体化した専門講座塾

移住定住・集落活性化元気塾

専門講座のテーマ・内容

空き家・古民家など資源を活用した活性化

- ①若手リーダー候補を中心に、地域資源のブラッシュアップ（磨き上げ）を行う。
- ②古民家カフェなど魅力を発信する企画を考え、移住定住につながる講座を開催する。

全国の事例研究と県外視察による研修

- ①全国の成功事例などを参考に、県外研修などを通じて集落の活性化策を立案する。
- ②企画案を現実に実践することで達成する。



布勢の清水

地域資源活用・連携元気塾

専門講座のテーマ・内容

水資源や有機栽培を活用した連携の推進

- ①中山間地域の水資源や有機栽培など地域資源に光を当て、集落連携による推進を強化。
- ②資源を活用することが活性化の種になり、連携により成果が広がる取り組みを進める。

県外研修など連携を加速する実践活動

- ①地域資源を活かした成功事例などを参考に、塾生自身が見て聞くことで内容を学ぶ。
- ②県外研修により地域連携を強化する。



服部神社

歴史・文化再発見元気塾

専門講座のテーマ・内容

集落に隠れた歴史・文化の学びを実践

- ①福部町海士集落、用瀬町江波集落、流し雛の伝統、気高町殿集落など歴史・伝統文化を学びのテーマに集落活性化を推進する。
- ②学芸員による歴史・文化講座を開催する。

地域内外を対象としたフォーラム開催

- ①地域の歴史・文化の情報発信や集落内の合意形成のためフォーラムなどを開催する。
- ②共有財産になるパンフなどを作成。

21. 平成27年度のテーマ別専門講座・テーマイの実施内容



平成27年度 鳥取市過疎地域・中山間地域人材養成事業
とっとりふるさと元気塾テーマ① 集落活性化・地域コミュニティの強化

歴史文化の再発見をテーマとした専門講座の開催案内

「さくら姫の伝説から学ぶ」

開催日 / 平成 27 年

7月11日(土)

10:00 ~ 12:15 (受付 9:30 ~)

参加者募集中!
(参加費無料)



会場 / 気高町 殿公民館
〒689-0342 鳥取市気高町殿 175

とっとりふるさと元気塾の塾生が及び
集落・地域で活動されている皆様へ
テーマ別専門講座の歴史文化の再発見講座
の開催をご案内いたします。
テーマは「さくら姫の伝説から学ぶ」です。
名水として有名な布勢の清水のある
気高町殿集落でさくら姫は生まれました。
さくら姫の恋のお話は隣の鹿野町に伝わり
さくら姫物語として鹿野ミュージカルに受け
継がれています。
歴の多いさくら姫ではありませんが
鳥取市文化財課文化財専門員を講師として
さくら姫と地域との結びつきについて学びます。
ぜひご参加いただけますよう
ご案内申し上げます。

主催：鳥取市

※平成27年度 鳥取市過疎地域・中山間地域人材
養成事業「とっとりふるさと元気塾」は、合同
会社コミュニティデザイン工房が鳥取市より
事業を受託しています。

※さくら姫とかみ親王の絵の作者：池本 年稚樹

■ 歴史文化の再発見講座塾

開催日：7月11日(土)10:00~
開催場所：気高町殿公民館
テーマ：さくら姫の伝説から学ぶ
内容：地域に伝わるさくら姫の伝説を学び、集
落の活性化につなげる



平成27年度 鳥取市過疎地域・中山間地域人材養成事業
とっとりふるさと元気塾テーマ① 集落活性化・地域コミュニティの強化

歴史文化の再発見をテーマとした専門講座の開催案内

「海士フォーラム in 福部の開催」

— 古代日本の文化交流から学ぶ —

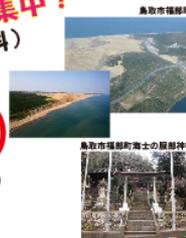
福部町海士の歴史と海の民の足跡をたどる

開催日 / 平成 27 年

10月10日(土)

13:30 ~ 16:00 (受付 13:00 ~)

参加者募集中!
(参加費無料)



会場 / 福部町 中央公民館 2F 講堂
〒689-0102 鳥取市福部町細川 1338

とっとりふるさと元気塾の塾生が及び
集落・地域で活動されている皆様へ
テーマ別専門講座の歴史文化の再発見講座
の開催をご案内いたします。
「— 古代日本の文化交流から学ぶ— 福部町海士の
歴史と海の民の足跡をたどる」をテーマに
「海士フォーラム in 福部」を開催します。
海士集落の海士という地名が、古代日本における
“海の民”とでもいふべき人々が残した国際的な
交流の足跡であることから、米子の安曇族や
青谷上寺地遺跡などの関係について考えます。
海士集落の知られざる歴史を探り、集落の活性化や
地域コミュニティの強化に活かします。
ぜひご参加いただけますよう
ご案内申し上げます。

主催：鳥取市

※平成27年度 鳥取市過疎地域・中山間地域人材
養成事業「とっとりふるさと元気塾」は、合同
会社コミュニティデザイン工房が鳥取市より
事業を受託しています。

■ 歴史文化の再発見講座塾

開催日：10月10日(土)13:30~
開催場所：福部町福部中央公民館
テーマ：海士フォーラムin福部の開催
内容：海の民の古代交流を題材に海士の歴
史を学び、地域の活性化につなげる



22. いままでに取り組んだ内容・成果の参考事例(1)

集落・地域の活性化 用瀬地域	テーマ	取組みグループ・個人・地域
	居住地域の活性化	屋住集落 屋住地域協議会
成果の要点	<ul style="list-style-type: none"> ●地域の宝（地域資源）の発掘を積極的に行い、これらの資源を活かす具体的な取組みを実施。 ●とっとりふるさと元気塾の出前養成講座の開催を機に、地域資源の再発見から「水」と「米」を今後の重点的な取組みに決定。 	
取組み成果	<ul style="list-style-type: none"> ●元気塾の出前養成講座や県外視察へ積極的に参加し、平成25年度に屋住集落で出前養成講座を開催した。集落内外の方から活性化について助言をいただき、何を進めていくべきかの方向性にヒントを得られた。 ●地域の宝（地域資源）の発掘を継続した結果、空き家・古民家・湧き水、米、梅・柿・栗、自然環境などがあがった。これらの資源を生かすことで地域の活性化を図っていく。 ●空き家の有効利用、住民意識調査、湧き水の水質検査、米の食味値測定、梅の木の管理、滝の撮影、栗の実の調査などを実施し、活用の具体化に取り組んだ。特に今後は、水資源の活用と屋住の米のブランド化を図っていく。また、公民館活動を活性化させることも課題である。 	

 <p>古民家農谷川邸</p> <p>空き家・古民家の活用を検討</p>	<p>現状と課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ●他地域と同じく屋住集落の人口が減少し、活力の低下が危ぶまれるがそのことについて危機感を持つ人が少ない。 ●集落内に空き家や耕作放棄地が増えてきた。また山林の荒廃も進み何らかの対応策を考えなければならない。 ●現在も、集落内で様々なイベントや農業体験など活性化事業に取り組んでいる。その際、住民が知恵を出し合い問題の解決に取り組もうとするが、最近では疲労感とマンネリ化を感じるが増えてきた。 	
 <p>農業体験の実施</p>		<p>取組み内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ●平成24年度より元気塾の出前養成講座や県外視察に参加し、屋住集落の活性化策について勉強した。平成25年度に屋住集落を会場に出前養成講座を開催し、具体的な課題や取組むべき内容が明確になった。 ●現状把握として、地域の宝（地域資源）を探し、これを活かすことで集落の活性化を図る。空き家・古民家、湧き水、米、梅・柿・栗、自然環境などが重要な資源である。 ●具体的に実施したのは、空き家等の有効利用、住民意識調査、湧き水の水質検査、米の食味値測定、梅の木の管理、滝の撮影、栗の実の調査。
 <p>屋住の湧水</p>		
 <p>とっとりふるさと元気塾の出前養成講座</p>	<p>今後の取組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ●取組みたいテーマとしては、屋住の物産販売や梅酒の製造、湧き水の整備、空き家を農業体験できる宿泊施設にすること、栗栗街道の整備、水力発電・太陽光発電などエネルギーの地産地消である。 ●テーマの実施にあたって、資金・人材・情報・知恵などを確保し、屋住集落の人々の団結を図りながら周辺地域を巻き込むことが大切だと考えている。公民館活動を活性化させることも重要だと考えている。 ●今後は、各地域資源の中から特に水資源の活用と屋住の米のブランド化を図っていきたいと考えている。 	

集落・地域の活性化 気高地域	テーマ	取組みグループ・個人・地域
	殿集落の活性化	清水の恵みを守る会
成果の要点	<ul style="list-style-type: none"> ●殿集落の地域資源であり、環境省の平成の名水百選にも認定された布勢の清水を活かし、環境保全活動や景観形成を通じて、殿集落の活性化に取り組んでいる。 ●とっとりふるさと元気塾を地元で開催し、清水や集落の歴史など宝の活かし方について意見を出し合った。 	
取組み成果	<ul style="list-style-type: none"> ●気高町殿集落の生活用水であり、農業用水として利用されている布勢の清水を守る活動をおこなっている。 ●平成2年に鳥取県より「因伯の名水」に選定され、平成20年に環境省より「平成の名水百選」として認定されたことから、水を汲みに訪れる人が急増。清水の清掃活動などの環境保全活動にとり組んでいる。 ●菜の花やコスモスの種蒔きなど景観形成に取組む活動や、地元で栽培した蕎麦を使った蕎麦打ちなどの地域活動をおこなっている。 ●輝く中山間地域創出モデル事業による集落実態調査の実施の他、とっとりふるさと元気塾のユニット会議を集落で開催し、清水の活用方法や集落の宝、自慢できるものの活用策について意見交換をおこなった。 	

 <p>布勢の湧水の清掃活動</p>	<p>現状と課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ●平成19年に鳥取県「農地・水・環境保全向上共同活動支援事業」の受益として、布勢の清水の維持管理・農地・農業用施設の維持のために守る会を結成した。 ●平成2年に因伯の名水に、平成20年に平成の名水百選に認定されたことで、住民意識も向上し清掃維持活動も継続している。 ●平成26年に国土交通省より「水資源功績者表彰」を受賞。輝く中山間創出モデル事業に採択されるなど多量なことが輝く中、将来の集落づくりの方向性や清水を活用した活性化についての計画が課題である。 	
 <p>布勢神社</p>		<p>取組み内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ●布勢の清水水源地である布勢神社・池周辺の清掃活動など、環境保全活動を継続している。菜の花やコスモスの種蒔きなど景観形成に取組む活動や収穫祭として地元の需要使った蕎麦打ちをおこなっている。 ●今後の殿集落をどのような地域にしていくか、輝く中山間地域創出モデル事業による集落実態調査を実施し、地域住民から多くの意見をいただいたので、これを基にコミュニティ施設の整備、遊休農地の活用、清水を活用した交流事業を進める予定である。 ●平成26年9月に、とっとりふるさと元気塾のユニット会議を開催し、清水の活用策について、参加の集落生から多くの意見をいただいた。
 <p>豊富な湧水が常に流く</p>		
 <p>元気塾での意見交換</p>	<p>今後の取組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ●殿集落には、清水の他にも桜餅の伝統や蕎麦など、活用できるテーマがたくさんある。清水で淹れた味噌や紅茶などで、清水を汲みに来た人との交流が生まれ、将来移住定住のきっかけになればと思う。 ●集落の女性グループの力で、清水を活用した抹茶やかんなどの加工品の開発・商品化ができれば地域の大きな活力となる。 ●一番の目標は、恵みある生まれ育った環境のために、また地域に生きる自分達のために、そして今後生まれてくる子供達のために、みんなが「協力し助け合い」殿集落の活性化を目指していくことである。 	

23. いままでに取り組んだ内容・成果の参考事例(2)

集落・地域の活性化	テーマ	取組みグループ・個人・地域
	勝部地域の活性化	勝部地域まちづくり協議会
青谷地域	成果の要点	<ul style="list-style-type: none"> ●勝部地域を魅力ある地域にするため、地元集落やまちづくり委員、地域住民が一体となって活動を実施。 ●地域資源を再発見するイベントの開催と地域経済活性化を目指した取組み計画を提唱。
	取組み成果	<ul style="list-style-type: none"> ●とっとりふるさと元気塾の出前養成講座・県外視察に可能な限り出席し、研修内容を勝部地域のまちづくりの参考とした。平成26年、とっとりふるさと元気塾の交流研修会を開催し、意見交換をおこなった。 ●勝部の魅力を再発見し、不動滝を活かした魅力あるまちづくりを提唱。不動滝周辺の環境整備などを地域が一体となってボランティアで実施。 ●ますの積みどりや勝部探訪ウォーキングなどのイベントを実施し、地域の魅力的な資源の再発見に取り組んだ。公民館報に活動状況を掲載して、地域住民への情報発信に努めた。 ●地域特産品の販売戦略やコスト管理について、経営的視点を導入し収益の出る体制づくりが必要であり、今後の地域づくりに反映する。
 <p>ますの積みどり</p>  <p>大層院大講堂でとっとりふるさと元気塾を開催</p>	現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> ●高齢化の進展と若者の流出が続き、社会減・自然減による人口減少が顕著である。子供の減少等もあり、まちに閉塞感がただよっており活力が低下し、後継者不在により農地や山林が荒廃している。 ●不動滝周辺の遊歩道・キャンプ場・伝承館の水車小屋を整備し交流人口の増加を図る必要があり、簡易宿舎（グリーンツーリズム）のできる民家を整備し、小さな経済活動に結び付けたい。 ●地域の特産品の品質管理・流通経路（トレーサビリティ）を明確化し、他地域との差別化を図ることが重要。
	取組み内容	<ul style="list-style-type: none"> ●不動滝周辺の環境整備を、役割り分擔を決めて鳥取市・地元集落・まちづくり委員、及び地域住民のボランティアで実施。やまびこ学校の倉庫・かへ伝承館祭りの時期に合わせてますの積み取り大会を開催。 ●勝部地域の名所を掲載した探訪マップにもつづき、勝部探訪ウォーキングを開催。毎月発行する公民館報にまちづくり活動状況を掲載し、地域住民に情報発信。 ●平成26年、とっとりふるさと元気塾の交流研修会を開催。不動滝の見学の他、御滝山大層院大講堂で滝を活用した取組みについて学んだ。
	今後の取組み	<ul style="list-style-type: none"> ●山陰ジオパークエリア拡大認定地域としての魅力を高め、地域ガイドの養成及びイベントを実施する。また不動谷川の整備をスーパーボランティア推進事業として認定してもらい、県・市と協定を締結した。 ●勝部探訪マップに掲載している34か所の名所に案内版を設置し、大層院の移転場を宿坊として有効活用し地域経済の活性化に結び付ける。販売戦略・コスト管理を徹底し、収益の出る体制づくりを目指す。 ●地域の安全・安心対策として、どういった訓練ができるのか。防災・減災訓練の内容について検討が必要。
 <p>地域住民のボランティア</p>  <p>不動滝</p>  <p>勝部探訪ウォーキング</p>  <p>大層院大講堂でとっとりふるさと元気塾を開催</p>	現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> ●上野地区は戦後の開拓事業で開拓され、当地にある福葉山周辺の環境悪化、ハイキングや遠足にこられる方々との交流などに取組んでいる。平成15年に自主活動組織として活性化協議会を結成した。 ●小規模な集落なので人手不足であるが、後継者や外部からの協力者で是の支え活動をしている。 ●市街地から比較的近いところにあり、自然や歴史といった多くの特徴を持つ地区ではあるが、それらを十分に伝えきれない。古今和歌集や百人一首に収められている原行平の歌など資源の発信が必要。
	取組み内容	<ul style="list-style-type: none"> ●集落周辺の環境美化（草刈りやゴミ拾い）、サルスベリやしだれ桜の植樹などを実施。 ●市民の買ひの場としての拠点施設「上野ふれあい交流館」を中心に、農業体験交流や地域の情報発信を目的とした交流イベント、秋の収穫祭を毎年開催して活性化に取り組んでいる。 ●平成25年、出張出前講座を開催したことにより、個々で行っていた取組みについて多角的な側面から知ることができた。また、鳥取市街地のカフェで開く「ふるさといっぱい市」で、上野地区の農産物の販売を継続している。上野の地域資源の情報発信と活用に取り組んでいる。
	今後の取組み	<ul style="list-style-type: none"> ●平成19年に「美しい日本の歴史の風土」奉百選に福葉山一帯が選ばれた。平安時代の歌人・公卿である原行平などの地域資源の情報発信に取り組むたい。 ●福葉山を中心とした歴史や自然、地域活動を知ってもらい交流を活性化させ魅力的な地域づくりを継続していききたい。 ●当地の集会所「上野ふれあい交流館」は、むらとまちの交流拠点になっているが、施設だけではなく魅力的なイベント（ソフト面）の充実にも力を入れていきたい。また、鳥取市街地の「ふるさといっぱい市」での農産物販売も継続していききたい。

集落・地域の活性化	テーマ	取組みグループ・個人・地域
	上野地区の活性化	上野地区活性化協議会
上野地域	成果の要点	<ul style="list-style-type: none"> ●上野ふれあい交流館を中心とした交流イベントや秋の収穫祭の開催など、地道な地域づくり活動を継続。 ●元気塾の出前養成講座の開催により、互いの取組みを多角的に知れ新しい価値観や企画のきっかけとなった。
	取組み成果	<ul style="list-style-type: none"> ●元気塾の出前養成講座・県外視察に出席し、研修内容を上野地域の活性化・地域づくりの参考とした。 ●集落周辺の美化活動や植樹の実施、交流拠点施設上野ふれあい館を中心に交流イベントや収穫祭を毎年実施して地域の活力につなげている。 ●平安の歌人在原行平が詠み、古今和歌集や百人一首に納められた歌の歌碑を福葉山に作るなど、上野地区の歴史地域資源を情報発信。 ●元気塾の出前養成講座の上野地区での開催をきっかけとして、個々で行っていた取組み内容についてお互い知ることできっかけとなった。 ●鳥取市街地のカフェで定期的に開く「ふるさといっぱい市」で、上野地区の農産物の販売をし、上野の地域資源の情報発信に取り組んでいる。
 <p>上野ふれあい交流館</p>  <p>上野地区のみなさん</p>  <p>百人一首歌碑</p>  <p>ふるさといっぱい市での農産物販売</p>	現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> ●上野地区は戦後の開拓事業で開拓され、当地にある福葉山周辺の環境悪化、ハイキングや遠足にこられる方々との交流などに取組んでいる。平成15年に自主活動組織として活性化協議会を結成した。 ●小規模な集落なので人手不足であるが、後継者や外部からの協力者で是の支え活動をしている。 ●市街地から比較的近いところにあり、自然や歴史といった多くの特徴を持つ地区ではあるが、それらを十分に伝えきれない。古今和歌集や百人一首に収められている原行平の歌など資源の発信が必要。
	取組み内容	<ul style="list-style-type: none"> ●集落周辺の環境美化（草刈りやゴミ拾い）、サルスベリやしだれ桜の植樹などを実施。 ●市民の買ひの場としての拠点施設「上野ふれあい交流館」を中心に、農業体験交流や地域の情報発信を目的とした交流イベント、秋の収穫祭を毎年開催して活性化に取り組んでいる。 ●平成25年、出張出前講座を開催したことにより、個々で行っていた取組みについて多角的な側面から知ることができた。また、鳥取市街地のカフェで開く「ふるさといっぱい市」で、上野地区の農産物の販売を継続している。上野の地域資源の情報発信と活用に取り組んでいる。
	今後の取組み	<ul style="list-style-type: none"> ●平成19年に「美しい日本の歴史の風土」奉百選に福葉山一帯が選ばれた。平安時代の歌人・公卿である原行平などの地域資源の情報発信に取り組むたい。 ●福葉山を中心とした歴史や自然、地域活動を知ってもらい交流を活性化させ魅力的な地域づくりを継続していききたい。 ●当地の集会所「上野ふれあい交流館」は、むらとまちの交流拠点になっているが、施設だけではなく魅力的なイベント（ソフト面）の充実にも力を入れていきたい。また、鳥取市街地の「ふるさといっぱい市」での農産物販売も継続していききたい。

24. テーマ ウ 「地域間交流の促進」の考え方、手法

■移住や定住につながる交流や海・アートなどの多彩な講座を開催

テーマ ウ の課題背景

- ・交流事業では、スタート時に費用がかかり補助金が使われることが多い。財源など費用の問題で交流の継続が難しい。
- ・イベントの開催や一過性の取り組みで交流人口は増加するが、移住や定住・経済活動に結びついていない。



若者の農業体験

「地域間交流の促進」を具体化した専門講座塾

地域連携・交流元気塾

専門講座のテーマ・内容

音楽をテーマに若者参加型交流の推進

- ①若者の参加によるイベント開催など新たな交流企画を推進。
- ②音楽など、多くの人に人に共感されるものをテーマに実験的な取り組み内容とする。

事例研究と取り組み視察を通じた研修

- ①地域の音楽家や愛好家のネットワークをはかれるような内容や方向性を検討する。
- ②実践することで成果につなげる講座とする。



癒しの海

海資源活用・マリンセラピー元気塾

専門講座のテーマ・内容

海をテーマにした交流活動の推進

- ①鳥取市の海の活用が遅れている。漁業としての海でなくジオパークやレジャーなど癒しのスポットとしての活用を探る。
- ②海の資源をテーマとして交流を促進させる。

鳥取発マリンセラピーの情報発信と実践

- ①波音や潮騒、海に沈む夕日など海は人を癒す絶好のテーマで、マリンセラピーと呼べる。海の魅力を活かした情報発信を行う。



和紙の切り絵や
クリスマスツリー展

アート・文化交流元気塾

専門講座のテーマ・内容

アートや伝統工芸・歴史文化の魅力を深める

- ①気高町の映像の取り組みや佐治町・青谷町の因州和紙の活用、福部の海士集落の交流の歴史など、魅力を交流につなげる。
- ②アーティスト・イン・レジデンスを計画。

継続性のある実践的な取り組みを実施

- ①実験的な取り組みを継続させるために、活動グループやリーダーの養成を強化する。
- ②取り組み例の情報発信を進め認知を高める。

25. 平成27年度のテーマ別専門講座・テーマウの実施内容

平成27年度 鳥取市通達地域・中山間地域人材養成事業
とっとりふるさと元気塾テーマウ 地域間交流の促進

海を活用した交流の促進をテーマとした専門講座の開催案内

「海の活用とマリンセラピー」

開催日 / 平成27年
7月31日(金)
15:00 ~ 16:30
(受付 14:30 ~)

参加者募集中!
(参加費無料)

会場 / 青谷町カフェ・デルマー
〒689-0535 鳥取市青谷町井手 271-1



主催：鳥取市

■海の活用・交流促進講座塾

開催日：7月31日(金)15:00～
開催場所：青谷町カフェ・デルマー
テーマ：海の活用とマリンセラピー
内容：海の資源を癒しのスポットとして活用、マリンセラピーをテーマにした計画推進

※平成27年度 鳥取市通達地域・中山間地域人材養成事業「とっとりふるさと元気塾」は、合同会社コミュニティデザイン工房が鳥取より事業を委託しています。

平成27年度 鳥取市通達地域・中山間地域人材養成事業
とっとりふるさと元気塾テーマウ 地域間交流の促進

地域連携・交流をテーマとした専門講座の開催案内

「2015 納涼サマーコンサート in 雨滝」

開催日 / 平成27年
8月23日(日)
13:00 ~ 17:00

出演者、参加者募集中!
(参加費無料)

会場 / 国府町雨滝・瀧の傘の前広場
〒680-0201 鳥取市国府町雨滝 605-2

2015 SUMMER CONCERT in AMEDAKI



主催：鳥取市

■地域連携・交流講座塾

開催日：8月23日(日)13:00～
開催場所：国府町雨滝・瀧の傘
テーマ：納涼サマーコンサートin雨滝の開催
内容：雨滝・瀧の傘の情報発信、地域と住民の連携によるコンサートを開催

とっとりふるさと元気塾の発生の皆様及び
鳥居・地域で活動されている皆様へ
テーマ別専門講座の地域連携・交流講座の開催をご案内いたします。
テーマは「2015 納涼サマーコンサート in 雨滝」です。
地元のバンドや演奏家の皆さん、鳥取市内で音楽活動をしておられる皆さんに真夏でも涼しい雨滝に集っていただき、暑い夏のひと時、音楽を楽しみ、音楽で地域を元気にするコンサートを開催します。コンサート実現は参加型で、鳥居や地域で音楽をされている方にも、演奏していただけます。多くの方に聞いていただき、地域を盛り上げていただきますようご案内申し上げます。

平成27年度 鳥取市通達地域・中山間地域人材養成事業
とっとりふるさと元気塾テーマウ 地域間交流の促進

アート・文化交流をテーマとした専門講座の開催案内

「アーティスト・イン・レジデンスの実践」

開催日 / 平成27年
8月29日(土)
10:00 ~ 13:30

参加者募集中!

会場 / 青谷町「鳥取市あおや和紙工房」
お問い合わせ：〒689-0514 鳥取市青谷町山根 313
TEL：0857-89-5080

開催日 / 平成27年
8月30日(日)
10:00 ~ 14:00

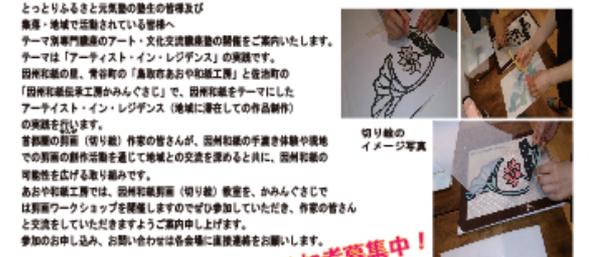
参加者募集中!

会場 / 佐治町「因州和紙伝承工房かみんぐざじ」
お問い合わせ：〒689-1316 鳥取市佐治町福園 146-4
TEL：0858-89-1816

主催：鳥取市

■アート・文化交流講座塾

開催日：8月27日～9月1日
開催場所：青谷町・佐治町
テーマ：アーティストインレジデンスの実践
内容：首都圏の切り絵作家6名が青谷と佐治で滞在しながら制作・交流を行う



とっとりふるさと元気塾の発生の皆様及び
鳥居・地域で活動されている皆様へ
テーマ別専門講座の開催をご案内いたします。
テーマは「アーティスト・イン・レジデンス」の実践です。
因州和紙の里、青谷町の「鳥取市あおや和紙工房」と佐治町の「因州和紙伝承工房かみんぐざじ」で、因州和紙をテーマにしたアーティスト・イン・レジデンス（地域に滞在しての作品制作）の実践を行います。
首都圏の作家（切り絵）作家の皆さんが、因州和紙の手造り体験や後地での両面の創作活動を通じて地域との交流を深めると共に、因州和紙の可能性を広げる取り組みです。
あおや和紙工房では、因州和紙製（切り絵）教室を、かみんぐざじでは両面ワークショップを開催しますのでぜひ参加していただき、作家の皆さんと交流をしていただきますようご案内申し上げます。
参加のお申し込み、お問い合わせは各会場に直接連絡をお願いします。

切り絵のイメージ写真

※平成27年度 鳥取市通達地域・中山間地域人材養成事業「とっとりふるさと元気塾」は、合同会社コミュニティデザイン工房が鳥取より事業を委託しています。

26. いままでに取り組んだ内容・成果の参考事例(1)

広域的地域間 交流の促進 国府地域	テーマ 地域の活性化	取り組みグループ・個人・地域 雨滝自治会
	成果の要点	<ul style="list-style-type: none"> ●日本の滝百選に選ばれた「雨滝」を活かし、地域の交流拠点「瀧の傘」を通じた地域の活性化に取り組む。 ●平成26年度にとっとりふるさと元気塾を地元で開催し、「瀧の傘」の活用方法などについて話しあった。新しい活性化アイデア案の実行について推進中。
	取り組み成果	<ul style="list-style-type: none"> ●平成2年に日本の滝百選に選ばれた、地域資源である雨滝に活性化の記憶冊を作り、将来的に地域の賑わいある活性化につなげたいと、平成24年10月に交流施設「瀧の傘」を完成させた。 ●施設管理や運営については、建物内外の整備や飾り付けには費用をかけず、熱意とアイデアを出し手づくりで作り上げた。地元農産物の販売や加工品の販売、手づくりのお土産品などを販売している。 ●平成26年9月に、とっとりふるさと元気塾のユニット会議を「瀧の傘」で開催した。元気塾の塾生が集まり「瀧の傘」の取り組みについて意見交換をおこなった。その中のアイデアに傘をテーマにしたイベント案が上がり、因州和紙を使った和傘を作る米子の傘屋とのコラボなど、具体的なイベント開催にむけ推進中である。



瀧の傘での元気塾の開催

現状と課題 取り組み内容 今後の取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ●国府町大茅地区では、大茅地区振興協議会を中心に地区の活性化に取り組んでいる。課題としては、貯水場の奥地までどうすればよいか、地区内の観光地を活性化する方法はないか、などについて協議していた。 ●観光客に食事を提供しようと川床料理の実現検討の他、史跡「根本唐寺」を利用した「水タルの星」づくりに向けて、現在推進中である。 ●大茅地区の観光地である雨滝には、年間数万人の観光客が訪れるので、雨滝自治会としても滝を通じて、将来的に賑わいのある活性化に結びつけられないかと考えていた。
	<ul style="list-style-type: none"> ●雨滝自治会として、平成2年に日本の滝百選に選ばれた雨滝を訪れる観光客により、地域ににぎわいと活性化をもたらせようと「瀧の傘」という施設を平成24年10月に完成。 ●施設管理や運営については、費用をかけず熱意を出して推進している。地元の農産物販売や手づくりのお土産品、加工品販売などもおこない、雨滝に来られた観光客との交流が生まれている。 ●平成26年9月、とっとりふるさと元気塾のユニット会議を「瀧の傘」で開催した。塾生との意見交換の中から、傘をテーマにしたイベント開催案が出た。米子の傘屋とのコラボによる展示会を推進中。
	<ul style="list-style-type: none"> ●イベントの開催や話題づくりによって、雨滝と「瀧の傘」の情報発信をしていくことが重要であり、もっと認知度を上げていきたい。 ●国府町は、因幡の傘語りのルーツの場所である。傘をテーマにした様々なイベントを通じて、魅力あるイメージを発信していきたい。 ●何かを進め実施するにしても、地元の自治会全体での協力体制が必要である。施設の周辺整備や、新しい取組みへの提案・実行を通じて進めていきたいと思う。魅力あるイベントの継続的な開催を計画したい。



雨滝



瀧の傘



元気塾ユニット会議での瀧の傘の取組説明

広域的地域間 交流の促進 用瀬地域	テーマ 大村地域の活性化	取り組みグループ・個人・地域 大村地域
	成果の要点	<ul style="list-style-type: none"> ●地域資源である「おう穴群」を活かした祭やイベントなどの交流事業を地域の住民が中心となって開催。 ●特産品開発をする女性グループが結成され、地元の地域資源を活かした食品を地域に来られた方に提供。
	取り組み成果	<ul style="list-style-type: none"> ●地域の宝である「おう穴群」を地元住民のボランティアで草刈りや清掃を行い整備している。昨年、県や市と「スーパーボランティア協定」を結んだ。夏のおう穴まつりやウォークラリーなどを実施し、他地区との交流活動を積極的に行っている。 ●大村地区のマップやおう穴ガイドマップなどを作成し、積極的に情報発信。平成26年8月、とっとりふるさと元気塾の実践ユニット会議を開催し、地域資源の活かし方について学んだ。 ●特産品開発の女性グループ「甘酒の会」や「あばーず」を結成。休耕田を利用し大豆づくりに取り組み、地元食材を使った特色のある食品を開発し、地域に来られた方々に提供した。特に、甘酒ゼリーが好評なので商品化し、商品販売にも取組む計画。



赤波川の
おう穴群



おう穴まつり
の様子

現状と課題 取り組み内容 今後の取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ●当地区には県内でも最も古いといわれる花崗岩地帯があり、渓谷に沿って国内でも珍しい浸食された奇岩（おう穴群）が1.2kmに亘って広がり観光名所となっている。県の文化財と「因伯の名水」に指定。 ●おう穴群は従来より地域の宝として住民のボランティアで草刈りなど清掃・整備をし、そこを会場としたおう穴まつりを開催してきた。 ●当地区には特産品としてかぶら寿司、湧水を使った甘酒などがあるが、まだ種類や供給量も多くはなく、このままでは、これらが増えることが期待される観光客に充分対応できない。地域資源の活用策が課題。
	<ul style="list-style-type: none"> ●他地区との交流を進め、夏のおう穴まつりには沢尻り、ウォークラリーなどをやっている。当地区の対外PRのため、おう穴群の詳細を紹介したポケット版「おう穴ガイドマップ」を制作した。 ●平成26年8月に、広域的地域間交流をテーマに、とっとりふるさと元気塾の実践ユニット会議を開催。地域資源の活かし方について学んだ。 ●特産品開発に挑戦する女性グループ「甘酒の会」や「あばーず」が結成された。休耕田を活用した大豆づくりに取り組むなど、地元食材をふんだんに使った特色あるメニュー「鬼っ子いなり」「鬼ざり」「甘酒ゼリー」などネーミングにもこだわって、商品化に取組んでいる。
	<ul style="list-style-type: none"> ●最寄りの鳥取自動車道用瀬ICからの客寄せの仕掛けづくりとして案内板やパンフレットの置き場所、イベント会場など国交省や市と調整。 ●おう穴ガイドなどの人材養成やおう穴町内の他の名所（流し蟹の館、洗足山など）とのコラボによる新観光コースの開発をしたい。 ●大村にしかない特産品を絞り込み、リピーターを獲得すること。生産体制、販売方法など課題はあるが、ひとつひとつクリアしていきたい。特に甘酒ゼリーが好評なので、商品化を急ぎたい。地元経済の活性化や住民の生きがいづくりなど、あらゆる地域活性化につながる。



かぶら寿司

洗足山の湧水の甘酒



おう穴まつり
の様子



甘酒の会の加工品づくりの様子

27. いままでに取り組んだ内容・成果の参考事例(2)

広域的地域間 交流の促進 気高地域	テーマ 気高地域の活性化	取り組みグループ・個人・地域 しょうがぼかぼかフェスタ実行委員会
	成果の要点 <ul style="list-style-type: none"> ●しょうがぼかぼかフェスタを平成23、24、25年度に開催、気高地域の活性化に継続して取り組む。 ●気高の特産品の生姜と浜村温泉と健康をテーマに、気高地域の連携を進めて地域全体のイベントを実現。 	
取組み成果  しょうがぼかぼかフェスタ 2014の開催	<ul style="list-style-type: none"> ●毎年好評だった「しょうがぼかぼかフェスタ」を継続して開催し、気高地域全体のイベントとして取組んだ。しょうがぼかぼかフェスタ実行委員会が企画・運営などを推進した。 ●イベントの特色は、気高特産の生姜と温泉である。生姜が健康に良いことから「生姜と温泉と健康」をテーマに、ぼかぼか生姜御膳の提供や温泉を無料にするなどの他に無い特徴づくりをおこなった。 ●気高地域全体のイベントとするため、浜村温泉街の旅風庵や浜村温泉館、ゆうゆう健康館けたか、観光センターなども協力。気高地域の5地区との連携を深めた取組みとした。 ●今後も「しょうがぼかぼかフェスタ」を継続して開催し、鳥取の冬を代表とするイベントに育てていきたい。 	
現状と課題  湯灯ろうで温泉情報を演出	<ul style="list-style-type: none"> ●気高町は浜村駅周辺（浜村温泉街）を中心市街地として発展してきた地域だが、近年浜村駅周辺は温泉宿も軒を残すのみであり、入浴施設もごく限られたものしかない。浜村温泉街の衰退が気高地域全体の停滞のイメージと重なっているように思う。 ●気高地域は浜村・宝木・酒津・瑞穂・逢坂と5つの地区から成り立っているが、この5つの地区の横の繋がりが決して密とはいえず、気高地域全体の地域活性化を進める上で、各地区の連携を進める必要がある。また、地域の特産として生姜があるが十分に活かされていない状況である。 	
取組み内容  ぼかぼかマルシェ 地域活力紹介コーナー	<ul style="list-style-type: none"> ●2年前から毎年開催し好評を得ていた「しょうがぼかぼかフェスタ」「気高冬湯博2013」を継続させ、平成26年は「生姜と温泉と健康」をテーマに「しょうがぼかぼかフェスタ2014」を開催した。 ●気高の特産として注目をあびている「しょうが」をメインに、かつての浜村温泉街の賑わいを再現しようとして旅風庵、浜村温泉館、ゆうゆう健康館けたかや観光センターにもイベントの範囲を広げ空き店舗の活用も行った賑わいを演出し、実行委員会による企画・運営を推進した。 ●目玉イベントとして旅風庵と浜村温泉館の入浴を無料とした、大変好評で普段浜村まで来ない人々の来客を呼び、新たな周知が出来た。 	
今後の取組み  旅風庵での生姜料理 (H25)	<ul style="list-style-type: none"> ●冬場のこの時期は周囲にイベントも少ない話題が少ないので、この取組みを気高の冬の名物イベントとして定着させたい。その為には一過性の取組みではなく、毎年の継続開催が必要と考えている。 ●継続するためには、運営の体制・組織づくりが重要であり、企画の段階からはもちろんイベントを実行するための人手も、もっと地域の人々を巻き込まなければならない。 ●気高地域全体のイベントとするために、気高地域の5地区との連携をさらに進めて地域の活性化を実現していきたい。 	

テーマ：広域的地域間交流の促進

佐治町 地域おこし協力隊 横山 浩

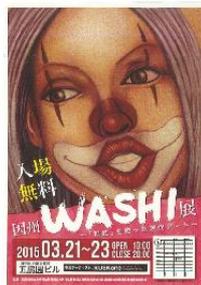
1. 何をしたか（取り組みなど）

1. 地域おこし協力隊員として、平成26年6月1日付で着任し、活動ミッションとして因習手すき和紙産業の振興に取り組んでいる。前半は佐治町で取り組んでいる、田舎ぐらし体験の中の「手すき和紙体験」をサポートしつつ、手すき和紙の勉強をする。
2. 手すき和紙の新たな可能性を見出すため、剪画（切り絵）の素材としての和紙の観点から、剪画展、剪画ワークショップの運営・開催に取り組んだ。
3. 手すき和紙の新たな可能性を見出すため、新商品開発の観点から、前例のない巨大クリスマスツリー制作を企画。地域の小学生も巻き込み「クリスマスツリー展」、巨大ツリーの下「クリスマスコンサート」などを企画開催した。



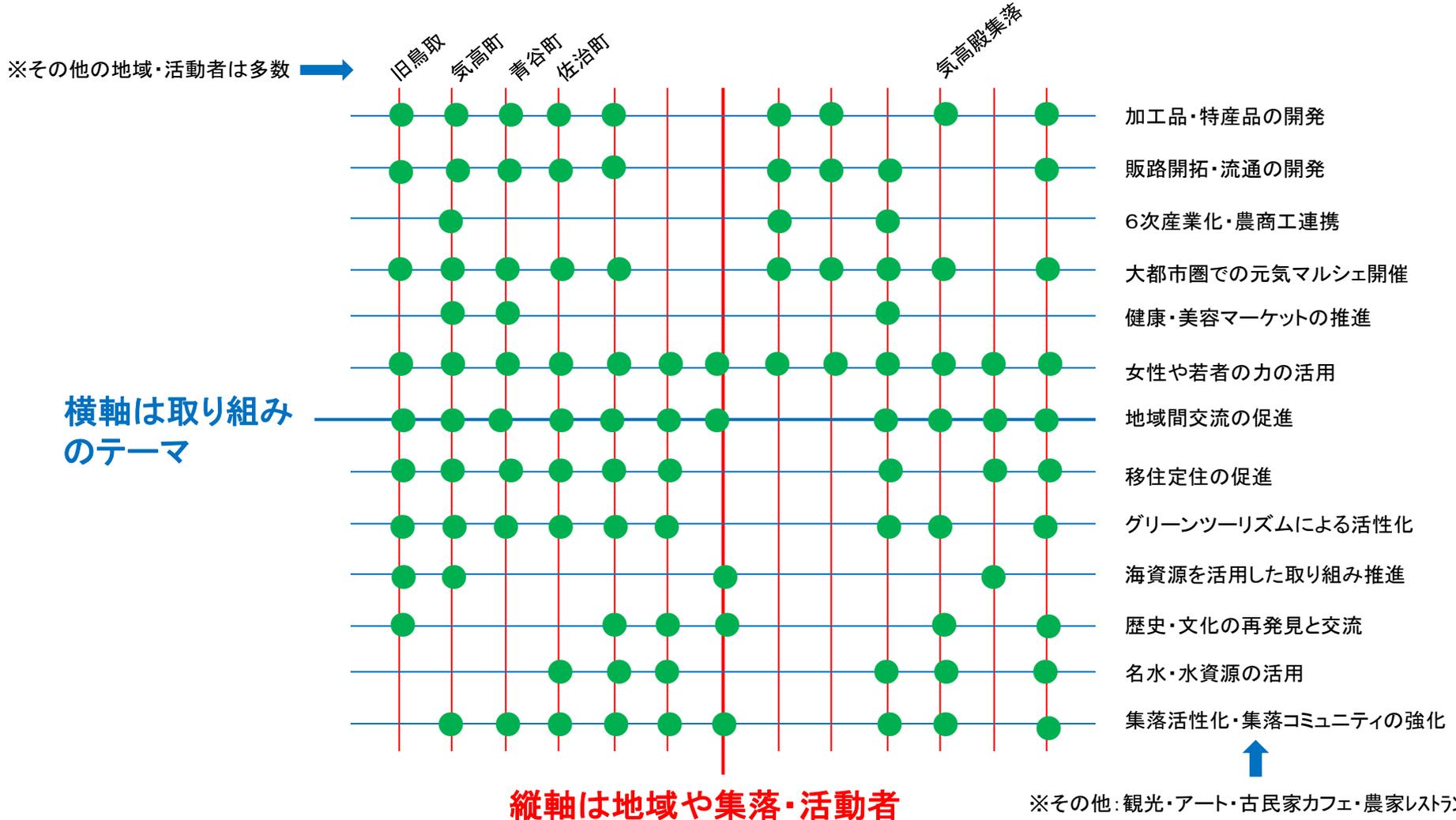
2. これからどうしていくか（今後の目標）

剪画ワークショップの定着化、クリスマスツリー展を継続的なものとしていくことはもちろん、更なる分野への挑戦、商品開発など、手すき和紙の需要を高めることを目指し、産業の振興を図ることを目標に活動を展開します。また、3月には五蔵園ビルを会場に、和紙を使ったアート展を開催予定です。



28.地域別出前養成講座、テーマ別専門講座、ネットワーク形成の考え方

ネットワーク形成のイメージ図(例)



29. 鳥取市の人材養成事業 「とっとりふるさと元気塾」の 取り組みキーワード

人材養成が必要な背景（なぜ必要か）

鳥取市が元気になるために人材養成が必要

- ・人づくりが重要なテーマ、元気は活性化の姿
- ・人材養成は重要な課題であり目的である

人が元気になることで地域が元気になる

- ・主役はあくまでも地域・集落の人である
- ・行動力のあるリーダーや地域に育つことが目標

地方創生・地域創生の重要な役割は人づくり

- ・人が元気になって、地域の課題に立ち向かう
- ・住みやすい地方の復権と人口減少を解決

住民と行政をつなぎ、活性化の重要な役割を担うのが、とっとりふるさと元気塾である

- ・多くの地域・集落住民が参加し、活性化を促進
- ・拠点機能としての役割を担い信頼感を生む運営

講座のポイント(何を実現するか)

成果が大切、成果の見える化を実現

- ・過去の成果や実績を活かした取り組み
- ・専門能力の向上で具体的な成果を実現する

仲間づくりや地域連携を進め活性化を実現

- ・仲間づくりやグループづくりなどを通じて、連携やネットワークを結成し活性化を実現する

少人数型の講座で自立したリーダー実現

- ・少人数によるワークショップ型講座を基本
- ・自主性を伸ばし、自立したリーダーに成長

フォロー対応を継続し、信頼感を育てる

- ・成功を実現する為にフォロー対応を継続する
- ・塾生と講師の信頼感を深めるディスカッション重視

学びの要点(何を学ぶのか)

課題を解決する専門性を高める

- ・テーマ別に目標を設定し、専門講座を開催
- ・6次産業化や農商工連携などに取り組む

利益を生み、やる気になる講座を実施

- ・利益を地域に還元することで元気になる
- ・地域ブランドを推進し行政に頼らない体制に

若者や女性などをテーマに交流を促進

- ・若者や女性をネットワークした企画を推進
- ・女性講師や専門講師による密着型研修

地域資源を再発見し連携を促進

- ・移住定住やグリーンツーリズム、名水や海、歴史・文化、アートなど多彩なテーマを設定

30. まとめにかえて

1. 地域の活性化とは、人が元気になること

やる気の源泉は
地域の資源の中にある

- 地域資源とは、モノや形のあるものばかりでなく、人が最も重要

2. 百回議論するより、1回の実行

考えるより実行

- 話し合いを尽くしたなら、迷わず実行に移すことで未来が見えてくる

3. オリジナルワンの取り組みを目指せ

真似できない取組みを

- オリジン: origin: 起源あり、「原型」「原本」「原図」「原曲」「独自の作品」「原作」を意味する

4. みんなで協力して地域を輝かそう

All for one、one for all
地域は一人のために
一人は地域のために

- 結局、地域を輝かせられるのは自分自身しかないと気づき覚悟すること

ご静聴ありがとうございました。

実践ユニット別取り組み内容・成果の一覧

実践ユニット	番号	地域	取り組みグループ・個人・地域	テーマ	取り組み内容・課題	目標・成果（ゴール）
実践ユニット ア	1	福部	福部アイデア館管理運営協議会	販売拡大	2年前から福部の特産品らっきょうの皮を使った加工品「らっきょうの花びら」の新商品化に取り組んでいる。従来商品を旧サンドバル・道の駅・わたいな・JR楽市楽座などで販売しているが、新商品を開発して販売を拡大し福部をPRしたいと考えている。	らっきょうの花びらの商品完成に向け、旧サンドバルで試食販売を行った。紫蘇による色付けも成功したので、平成27年度に量産し商品全体の販売拡大につなげたい。関西本部商品クリニックの学習を活かし、花びらを活用した花びら入り福神漬を開発。現在福部の漬物(ふくべ漬)を開発中。
	2	国府	中河原集落サークルつくしんぼ	流通開発	地元のこんにやく芋を使ったこんにやく作りに長年取り組んでいるが、地元での販売が主であった。販路を拡大できないかと考え、東京のマルシェでの販売に取り組んだり関西本部商品クリニックや道の駅のアドバイスを受け可能性を探った。	「因幡万葉こんにやく」というブランドを作り、ラベルも新しく作成し完成した。因幡万葉こんにやくの販売拡大のため、関西本部や商店などの意見を聞いた。こんにやく商品は市場競争が激しく県外より地元販売を中心にした取り組みを強化、こんにやくのから揚げなどの商品化を検討中。
	3		手づくり梨工房	販売拡大	長年佐治の梨を活用したシャーベットやジャム、梨あめなどを製造販売しており、販売拡大が課題であった。昨年、新デザインのパッケージ・ラベルを開発し販売をスタートさせた。	新パッケージ・ラベルの梨ジャムと梨あめについては既存ルートでの販売増を達成。新ラベルを活かした梨のコンポートを販売するなど、マーケティングを活かした商品開発と販売ルートの開発を継続推進中。
	4	佐治	かみんぐ百彩	販売拡大	平成24年から東京代官山マルシェなどに出品するなど、佐治地域以外での販売を模索していた。鳥取市内のふるさとといっばい市に出品しマーケティングを実施。	大都市圏でのマルシェでは手ごたえを感じたが、継続するには送料等の課題が残る。地域おこし協力隊の協力で、遷喬地区公民館でマルシェを開催したところ好評だった。市内で直接販売し販売拡大を目指す。
	5		地域おこし協力隊	販路開発	かみんぐ百彩の販売拡大をテーマに、交流を通じて地域の産物販売ができないか販路開拓に取り組んでいる。	まちの遷喬地区公民館でせんきょう公民館マルシェを開催。ターゲットは市街地の買物弱者のお年寄りである。定期開催を目指す。
	6		たにがみ農園	販路開拓	梨の販路開発のために、東京代官山マルシェや会員制ネット販売にも取り組んでいる。	マルシェよりネット販売での冬の梨という売込み方に販売拡大の手ごたえを感じた。新しくチコリの販売拡大も目指している。
	7	用瀬	大村甘酒の会	商品開発	大村地域らしい加工品として甘酒ゼリーを開発した。イベントでの販売を中心に活動し商品化を目指している。	夏のおう穴まつりなど地域イベントで甘酒ゼリーを販売し好評を得た。新パッケージを開発し、継続して売れる商品化が目標。
	8		大村あば～ズ	商品開発	大村地域の農産物を活かした加工品の開発に取り組む。地域イベントで販売しながら商品化を目指している。	地元の大豆を使ったずんだ餅やいなり寿司を地域のイベントで販売したところ大変好評だった。商品化への体制づくりが次の課題。
	9	河原	小河内マドンナ隊	販売拡大	2013年より、地元のもち米（満月）を使った加工品作りを進めた。当初は冬場のかき餅だけだったが、通年販売のできる商品化が課題だった。地域でのイベント販売を中心に販売し、小河内集落に何らかの貢献をしたいと思っている。	通年販売できる商品として「やわらか姫もち」を開発したところ、大変好評だった。パッケージやラベルを新しくして商品のラインアップも回り販売拡大を目指す。関西本部からの紹介などもあり、販路が拡大し製造が追いついていない状況である。加工体制の確立が必要である。
	10		農家 前田真也	販路開拓	梨の販路開拓を目標に、関西本部で開催された商品クリニックや元気塾のユニット会議に参加。	付加価値の高い梨を生産しているため、現行ルート以外の売り先を求めている。梨以外の農作物の取組みも含め販路開拓を目指す。
	11	鹿野	すずかけ	販売拡大	2013年に開催された緑化とっとりフェアで開発したオリジナルのハーブ紅茶の商品開発に取り組んでいる。イベント販売の他、道の駅や地元鹿野町での販売拡大を目指している。	オリジナルのハーブ紅茶の他に、地元鹿野産の生姜を使ったしょうが紅茶を開発した。新デザインのラベルにより、他メーカーの商品との差別化を図っている。販売拠点を増やすことで販売拡大につなげていきたい。
	12		おもしろ市場	販売拡大	東京代官山マルシェなどに出品するなど、地元以外での販売に取り組んだ。定期的な販売の拡大が課題。	地元以外での販売に手ごたえを感じるが、送料がかかり継続は難しい。販売先の拡大を目標に検討を進める。
	13	気高	一般（瑞穂生姜）	販売拡大	気高地域のイベントを中心に瑞穂生姜の広報と販売を推進しているが、総合的な活動になっていない。	しょうがぼかぼかフェスタなど、地域イベントでの販売に取り組んでいるので、継続した取り組みにしていきたい。
	14		一般（日光生姜）	販売拡大	気高地域のイベントに加え、独自のイベント開催や日光生姜を使った商品化を進めることで販売を拡大したい。	しょうがぼかぼかフェスタや日光地区独自イベントの開催、生姜商品の開発も進み日光生姜の販売拡大につなげている。
	15		農家 木下仁人	流通開発	米の有機農業に取り組んでいるが、その他の農作物も含めて可能性を広げたいと考えている。	有機米の他に、元気塾のユニット会議で得た特徴のある農産物なども検討。交流もテーマに考え地に足の着いた取り組みにしたい。
	16		瑞穂地域加工グループ	商品開発	地元瑞穂の有機栽培生姜を活用した加工品作りに取り組んでいる。将来の商品化が課題である。	生姜の甘煮や生姜入り生キャラメルなど、加工品の試作販売を実施したところ好評だった。食品加工場の確保や販売方法を検討中。
	17		さくら工房	販売拡大	工房で作っているお菓子の販売拡大に取り組んでいる。工房オリジナル商品の開発も課題である。	地元での販売や地域イベントでの販売をしているが、それに加えて新商品開発による商品力のUPが目標であり課題である。

実践ユニット別取り組み内容・成果の一覧

実践ユニット	番号	地域	取り組みグループ・個人・地域	テーマ	取り組み内容・課題	目標・成果（ゴール）
実践ユニット ア	18	青谷	のぞみハウス	販売拡大	青谷特産のびわを使って地域を盛り上げたいと思い、びわを活用した加工品の開発に取り組んでいる。 新商品を発表することで既存商品の販売拡大につなげたいと思っている。	青谷特産のびわを使ったびわの実ロールケーキを開発したところ大変好評だった。 青谷地域の魅力を情報発信できたのと、職員、利用者が一体となって販売の拡大に取り組めて良かったと思う。
	19		引地びわ茶の会	商品開発	青谷町引地はびわの産地であり、特産のびわを活用できないかと思っていた。 びわの葉が健康に良いことを知り、びわの葉茶の製造販売に取り組んだ。	2013年から引地集落全体で取り組みを開始し引地びわ茶の会を設立。びわの葉を収穫し葉の加工は専門業者に委託してびわの葉茶を完成させた。大変好評で、地元直売の他に地域の販売拠点にも出品し販売を継続中。
	20		いなば靴舎	販路開拓	農産物販売と農産物の加工品販売に取り組んでいる。アスパラの粕漬けなどの販売・販路拡大が課題である。	関西本部の商品クリニックや元気塾のユニット会議で販路開拓の相談を行った。イベント販売の他、販売先の定着と継続が必要。
	21	鳥取	オアシス東郷	販売拡大	しょうがジャムやきゅうりの佃煮、味噌、きゃらぶきなど地元の食材を活かした加工品作りに取り組んでいる。 2013年に加工品の新ラベルを作成し、販売の拡大を目指している。	加工品の商品力をアップさせ、地域のイベント販売を中心に販売していた。 地域からの協力者が現れ販売ルートも増えて販売の拡大につながっている。継続していきたい。
	22		神戸ふれあいセンター	販売拡大	神戸地域の食材を活かした加工品作りを複数のグループで取り組んでおり、神戸ブランドの実現をしたい。	元気塾の協力で、神戸地域共通のマークとラベルデザインを作成し、ユニフォームも製作した。イベントで着て地域を盛り上げた。
	23		農家 福本政男	流通開発	自然薯など特徴のある農産物を作り販売しているが、地域以外での販売をするための流通開発が必要である。	鳥取以外の近畿圏などで販売したいと思い、関西本部や元気塾のユニット会議で情報収集をし、販路・販売拡大を目指している。
実践ユニット イ	1	福部	海土を元気にしよう会	集落活性化	2012年度に海土集落の地域の宝を再発見し、海土の未来を語る会を開催した。地域の若者や女性も参加し、集落の活性化について話し合える場作りなど地域全体の取組みにしていきたい。	海土地域の歴史や文化を知り活かすことが大切だと気づき、服部神社をテーマに取り組みを始めた。服部神社の切り絵を作成し神社のカレンダーを氏子へ配布した。春祭りに灯籠も作り盛り上げたい。
	2	佐治	(株)さじ式拾壺	地域活性化	佐治地域の5つの宝である地域資源を活かし、地域の活性化に取り組んでいる。	和紙や民話、梨、食など特徴のある文化と、自然や景観を活かした独自の取組みによる活性化を目指している。
	3	用瀬	屋住地域協議会	集落活性化	屋住集落の地域資源の再発見と、資源を活かす取り組みを実施している。 集落の人口減少や耕作放棄地の増加などが進んでいるので住民が知恵を出し合い対策を考えることが重要。	元気塾の出前養成講座を通じて、水や米、古民家など屋住の地域資源をテーマに再発見した。名水珈琲やおにぎりの提供、景観を重視した交流事業などに取り組み、公民館を核に自立した地域を目指す。
	4		大村地区公民館	地域活性化	大村地区公民館として、大村地域の宝である地域資源を活かし、地域の活性化の活動を支援している。	独自の企画で地域サロンなどを開催。地域と公民館、まちづくり協議会が協力して実施する体制の確立が重要である。
	5		大村地区まちづくり協議会	地域活性化	公民館と連携し、大村地域の宝である地域資源を活かした地域の活性化活動を推進している。	おう穴群など地域資源をテーマにしたイベント活動を通じて、地域が一体となった活性化を実現できるよう推進している。
	6	気高	清水の恵みを守る会	集落活性化	地域の宝である布勢の清水など殿集落の地域資源を活かした取組みや、清水の清掃活動など環境保全や景観形成を通じた住民参加の地域活性化に取り組んでいる。	布勢の清水（名水）を使った名水珈琲や地元の蕎麦を使った名水蕎麦、名水ようかんなど水をテーマにした交流活動を進めている。 清水利用者と交流を目的とした桜姫交流会を独自開催し活性化に取り組んだ。
	7		逢坂地区公民館	地域活性化	逢坂地区公民館として、地域の資源を活かした地域の活性化の活動を支援している。	地域には有機農業や休耕田を活かした取組み、大堤や布勢の清水の活動がある。逢坂みんなで連携した取組みにつなげたい。
	8	青谷	勝部地域まちづくり協議会	地域活性化	勝部地域の魅力あるまちづくりや安全安心なまちづくり、交流人口増加をテーマに取り組んでいる。 具体的には、不動滝など地域資源を活かした取組みや環境整備などボランティアの活用、地域ガイドの養成が地域活性化に必要と考えている。	課題を実現する為には、集落やまちづくり委員、地域住民の意識改革と地域が一体となって活動を推進することが重要である。 魅力あるまちづくり、安全安心なまちづくりを3年以内に実現し、交流人口の増加を図りたいと思っている。
	9	鳥取	上野地区活性化協議会	集落活性化	上野地区の地域資源を活かした取組みの継続と、交流拠点施設（上野ふれあい交流館）の活用を進め活性化を図りたい。	上野地区の文化や歴史、豊かな自然環境などの地域資源を活かした取組みを進めて上野の魅力を発信したい。 交流館を中心とした交流イベントや秋の収穫祭の活動を継続し活性化を図っていく。
	10		神戸地区公民館	地域活性化	神戸地区公民館として、地域の資源を活かした地域の活性化を支援していくことが課題である。	神戸を語る会など地域活性化の推進と特産品である桃の振興、加工グループなどを支援し魅力ある地域づくりを実現したい。
	11		ふるさといっぱい市	地域活性化	中山間地域の農産物生産者と鳥取市街地のカフェレストランがコラボし、農産物販売に取り組んでいる。	鳥取市街地のカフェレストランで、毎月1度「ふるさといっぱい市」として農産物を継続して販売。都市部の消費者と中山間地域との交流や地域の活性化につながっている。

実践ユニット別取り組み内容・成果の一覧

実践ユニット	番号	地域	取り組みグループ・個人・地域	テーマ	取り組み内容・課題	目標・成果（ゴール）
実践ユニット ウ	1	国府	雨滝自治会	交流促進	雨滝を活かした地域の活性化を目標に、地域の交流拠点「瀧の傘」を通じた交流イベントの開催を計画。	元気塾のユニット会議で参加者から提案されたアイデアの実現に取り組んだ。傘をテーマに、米子の和傘屋とコラボした和傘展を開催し瀧の傘の情報発信を行った。好評だったので来年度継続を検討中。
	2	佐治	榎さじ式拾巻	交流促進	民泊を中心とした交流を進めている。他団体との交流にも取り組みたいと思っている。民泊が増えないことが課題である。	民泊の整備や一般受け入れの整備を進めることに積極的に取り組んでいく。2年後には100名程度の受け入れ態勢を作り年間500泊を目標に活動したい。
	3		かみんぐさじ	交流促進	因州和紙の産地としての集客と、販売増を目指して佐治独自の活動に取り組みたいと思っている。東京の切り絵作家による因州和紙の剪画展の開催と因州和紙の大クリスマスツリーの展示、クリスマスコンサートを開催した。	因州和紙の剪画展の開催と、同時に剪画ワークショップも実施したところ好評で一般の来場者が増えた。地元のクラフト工房ローダンセの協力で、和紙を使った大クリスマスツリーを制作、クリスマスツリーコンサートも開催し、和紙産地の情報発信と交流が進められた。
	4		クラフト工房ローダンセ	交流促進	佐治の木材や間伐材などの地域資源を活用し、リース作りやアクセサリーなどを販売している。かみんぐさじのイベントに協力して、因州和紙の大クリスマスツリーを開発した。	かみんぐさじのクリスマスイベントに合わせて、高さ4mの大クリスマスツリーを作成し展示した。クリスマスコンサートのシンボルとして、佐治和紙の魅力を発信できた。
	5		地域おこし協力隊	交流促進	佐治の因州和紙の振興に取り組んでいる。因州和紙を使った剪画展での剪画ワークショップの推進とかみんぐさじのクリスマスイベントの運営と推進を行った。	剪画ワークショップでは、東京の切り絵作家から剪画の講習を受け、ワークショップで一般来場者に指導し集客に貢献した。クリスマスイベントでは佐治小学校生徒が作ったツリー展示とコンサートを運営した。
	6		用瀬	大村地区まちづくり協議会	交流促進	大村地区の地域資源である「おう穴」への訪問者を増やして交流活動を進め、ガイドも増やしたい。地域の特産品を開発して、訪問者に販売し地域に貢献したい。
	7	河原	田中農園	交流促進	儲からない農業から儲かる農業を目指す。農産物の加工や販売を促進する農家レストランを実現したい。	自分の所の野菜等を使ったピザを作り、特徴のあるレストランを作って、地域の交流につながる取り組みにしたい。
	8	鹿野	鳥取市鹿野往来交流館「童里夢」	交流促進	地域の観光拠点施設として、地域内交流と地域外交流に取り組んでいる。ホームページやFaceBookを中心とした情報発信や地域と観光客との交流を目指しイベントを開催している。	鹿野城下町をにぎわいのある城下町にすることが目標の一つである。平成25年度から交流している東京の切り絵作家による因州和紙の切り絵展を今年度も開催、都市との交流を促進し活性化を図る。
	9	気高	しょうがぼかぼかフェスタ実行委員会	地域活性化	平成23年度から気高町の特産品の生姜と温泉、健康をテーマに交流イベントを開催している。実行委員会方式で地域の関係者が協同運営し気高の冬を盛り上げている。	毎年、継続した取組みに成長してきている。地域で企画し、地域の有志・団体・グループの協力で連携により、交流イベントに育ってきた。冬の交流イベントとして定着させ、地域の活性化を図ることが目標である。
	10		ゆうゆう健康館けたか	交流促進	浜村温泉街にあって地域内外から多くの方を迎えており、地域イベントの際は積極的に協力している。	気高イベントとして定着してきた「しょうがぼかぼかフェスタ」ではイベント会場として提供し、交流拠点の役割を担っている。
	11		正調会 貝殻節踊り	交流促進	気高を代表する文化である貝殻節踊りを伝承する活動を通じて、地域の魅力を発信している。	「しょうがぼかぼかフェスタ」をはじめ、地域の交流イベントなどに協力し、貝殻節踊りの魅力を紹介している。
	12		ことり舎	交流促進	短編映画（ショートムービー）を題材に、映画（映像）の力を借りて、浜村温泉の活性化に取り組んでいる。映画制作を学ぶ湯けむり映画塾を開催、映画による交流を進めている。	浜村温泉映画祭を開催し、浜村温泉街・旅館を舞台にした短編映画「ようこそ浜村へ」を上映した。地域を題材にしたショートムービーによる地域活性化や交流促進の可能性を、さらに広げていきたい。
	13		睦達うぐい突き保存会	交流促進	逢坂地区にある大堤池で、400年以上の歴史を持つ伝統行事「うぐい突き」を継承し交流を促進している。	毎年10月に逢坂・大堤のうぐい突きを開催している。地域外からの参加者が増え屋台村も出現、出会いと交流の場に育てたい。
	14		あおや和紙工房	交流促進	和紙工房では、年間を通じて因州和紙の魅力を発信するイベントなどの取り組みをしている。元気塾の関係で東京の切り絵作家が訪れ、剪画展の開催が検討された。	東京の切り絵作家との交流により、因州和紙を使った剪画展（切り絵展）を開催した。将来的には、東京の作家が手漉きを体験し、滞在しながら作品を制作するというアーティストインレジデンスを実現したい。
	15	青谷	かちべ伝承館（かちべ豆っこ）	地域活性化	地域の食材を活かした食べる会を開催している。地域外との交流を、さらに進めたいと思っている。地域資源を活かした観光につながれば、地域が活性化すると思う。	年間定期的にバイキング方式の食べる会を開催している。その際、不動滝の見学やコンサートも開催し地域の魅力を情報発信した。元気塾の交流研修で学んだ、継続した取組みと地域連携の推進を実現したい。
	16		カフェ&ペンションデルマー	交流促進	青谷地域の素晴らしい海を活かした交流による地域の活性化に取り組んでいる。	山陰海岸ジオパーク関連イベントを毎年実施しており、サーフィンをテーマにした取り組みなど海の交流を促進していきたい。



平成 27 年度 鳥取市過疎地域・中山間地域人材養成事業

とっとりふるさと元気塾テーマ^ア 加工品・特産品の開発

販売拡大・販路開発をテーマとした専門講座の開催案内

「とっとり元気マルシェの開催」

参加者募集中!
(参加費：食事代実費)

開催日 / 平成 27 年

10月16日(金)

7:30 ~ 22:30

県外販売研修

研修先：大阪市内

プラザ・グリーンマーケット

〒530-5 大阪府大阪市北区中之島 2-3-18

中之島フェスティバルタワー地下 1 階サンクンガーデン



鳥取市の情報発信拠点「ととりのまんま」



とっとりふるさと元気塾の塾生の皆様及び
集落・地域で活動されている皆様へ

テーマ別専門講座の販売拡大・販路開発
講座塾「とっとり元気マルシェ」の開催を
ご案内します。

会場の大阪市北区中之島のフェスティバル
プラザ「グリーンマーケット」は、鳥取県
東部の新鮮な野菜や果物などを定期的に販
売している拠点です。今回は「とっとり元気
マルシェ」として出店し、塾生の皆さんが
直接関西のお客様にそれぞれ農産物や加工品
等を対面販売することで、今後の商品開発や
販売拡大の取り組みの参考にさせていただき
たいと思います。

ぜひご参加いただきますよう

ご案内申し上げます。

主催：鳥取市

※平成 27 年度 鳥取市過疎地域・中山間地域人材
養成事業「とっとりふるさと元気塾」は、合同
会社コミュニティデザイン工房が鳥取市よ
り事業を受託しています。



平成 27 年度 鳥取市過疎地域・中山間地域人材養成事業

とっとりふるさと元気塾テーマ① 集落活性化・地域コミュニティの強化

歴史文化の再発見をテーマとした専門講座の開催案内

あも う

「海士フォーラム in 福部の開催」

— 古代日本海の文化交流から学ぶ —

あも う

福部町海士の歴史と海の民の足跡をたどる

参加者募集中!
(参加費無料)

開催日 / 平成 27 年

10月10日(土)

13:30 ~ 16:00 (受付 13:00 ~)

会場 / 福部町 中央公民館 2F 講堂

〒689-0102 鳥取市福部町細川 1338

とっとりふるさと元気塾の塾生の皆様及び
集落・地域で活動されている皆様へ
テーマ別専門講座の歴史文化の再発見講座塾
の開催をご案内いたします。

「—古代日本海の文化交流から学ぶ— 福部町海士の
歴史と海の民の足跡をたどる」をテーマに

「海士フォーラム in 福部」を開催します。
海士集落の海士という地名が、古代日本における
“海の民”とでもいうべき人々が残した国際的な
交流の足跡であることから、米子の安曇族や
青谷上寺地遺跡などとの関係について考えます。

海士集落の知られざる歴史を探り、集落の活性化や
地域コミュニティの強化に活かします。

ぜひご参加いただきますよう

ご案内申し上げます。

米子市の宗形神社



米子市安曇

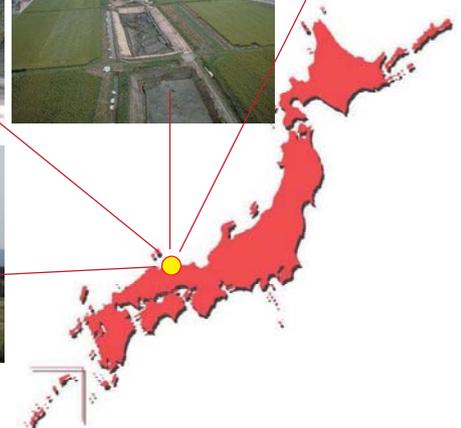
鳥取市青谷町の青谷上寺地遺跡



鳥取市福部町



鳥取市福部町海士の服部神社



※平成 27 年度 鳥取市過疎地域・中山間地域人材
養成事業「とっとりふるさと元気塾」は、合同
会社コミュニティデザイン工房が鳥取市よ
り事業を受託しています。

主催：鳥取市

1. 歴史文化の再発見講座塾の開催スケジュール

① 13:30～ 開会

とっとりふるさと元気塾の今年度の事業説明

② 13:40～ 講義①：「海をめぐるさまざまな交流を考える」

講師：黒田 一正（伯耆の古代を考える会会員）

講義②：「海の交流と青谷上寺地遺跡」

講師：河根 裕二（鳥取市青谷上寺地遺跡展示館、あおや郷土館館長）

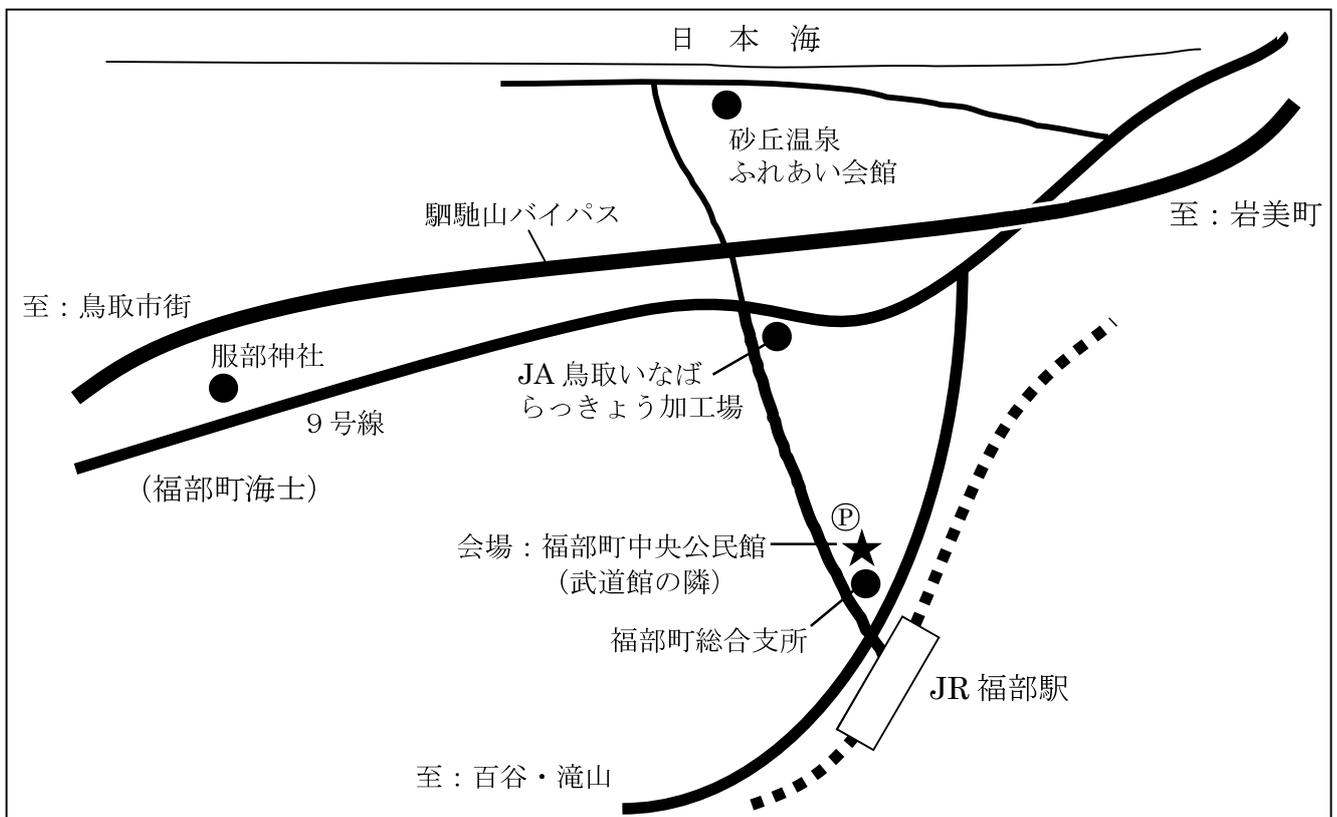
③ 14:50～ フォーラム「海士の歴史と海の民をめぐる交流から地域の活性化を考える」

講師と参加者による意見交換

- ・海の民の文化と海をめぐるさまざまな交流
- ・海士と服部神社の歴史を探り、地域の活性化に活かすには

④ 16:00～ 閉会予定

2. 会場MAP



3. 申込方法

電話または別紙の参加申込書にご記入のうえ郵送、ファクシミリもしくは電子メールで、各総合支所地域振興課（鳥取地域は地域振興監地域振興課）までお申し込みください。

<申込期限> 参加申込：10月6日（火）まで

4. 申込先および人材養成事業に関するお問い合わせ先

■鳥取市各総合支所地域振興課

総合支所名	電話番号	ファクシミリ	電子メール
国府町	0857-39-0555	FAX 0857-27-3064	kf-chiiki@city.tottori.lg.jp
福部町	0857-75-2811	FAX 0857-74-3714	fb-chiiki@city.tottori.lg.jp
河原町	0858-76-3111	FAX 0858-85-0672	kw-chiiki@city.tottori.lg.jp
用瀬町	0858-87-2111	FAX 0858-87-2270	mc-chiiki@city.tottori.lg.jp
佐治町	0858-88-0211	FAX 0858-89-1552	sj-chiiki@city.tottori.lg.jp
気高町	0857-82-0011	FAX 0857-82-1067	kt-chiiki@city.tottori.lg.jp
鹿野町	0857-84-2011	FAX 0857-84-2598	sk-chiiki1@city.tottori.lg.jp
青谷町	0857-85-0011	FAX 0857-85-1049	ao-chiiki@city.tottori.lg.jp

■鳥取市地域振興監地域振興課（鳥取市役所本庁舎3階） 担当：小山

電話番号：0857-20-3184、ファクシミリ：0857-21-1594

電子メール：chiikishinko@city.tottori.lg.jp

5. 委託業者

この人材養成事業は、鳥取市が次の会社に委託して実施します。

合同会社コミュニティデザイン工房 代表社員：藤原 一輝

所在地：〒680-0862 鳥取市雲山298番地36

携帯番号：090-2004-9229（藤原）ファクシミリ：0857-27-6926

電子メール：n2v2kz@ona.biglobe.ne.jp

6. 主催 鳥取市

平成 27年 月 日申込

発信者

平成27年度 鳥取市過疎地域・中山間地域人材養成事業
とっとりふるさと元気塾 テーマ ① 集落活性化・地域コミュニティの強化

テーマ別専門講座 歴史文化の再発見講座塾（10月10日）参加申込書

所属等	氏名	住所	連絡先 (電話・携帯など)
(記入例) 〇〇区長	鳥取 太郎	鳥取市〇〇	090-1111-1111

所属等欄の記入例：一般、〇〇区長、〇〇協議会会長、委員

- ① 申込書の個人情報については、人材養成事業の目的以外の目的では利用いたしません。
- ② 新市域の方は、各総合支所（地域振興課）へお申込みください。
- ③ その他、鳥取地域（旧鳥取市）に在住の方は、市役所地域振興監地域振興課（FAX 0857-21-1594）へお申込みください。



平成 27 年度 鳥取市過疎地域・中山間地域人材養成事業
とっとりふるさと元気塾 地域別出前養成講座

国府町大茅地区での出前養成講座の開催案内

「大茅地区の地域資源を活かし地域を活性化」

開催日 / 平成 27 年

参加者募集中!
(参加費無料)

10月1日(木)

19:00 ~ 21:00
(受付 18:30 ~)

会場 / 国府町 おおかや交流館
(旧 大茅小学校)

〒680-0206 鳥取市国府町栃本 463



雨 滝

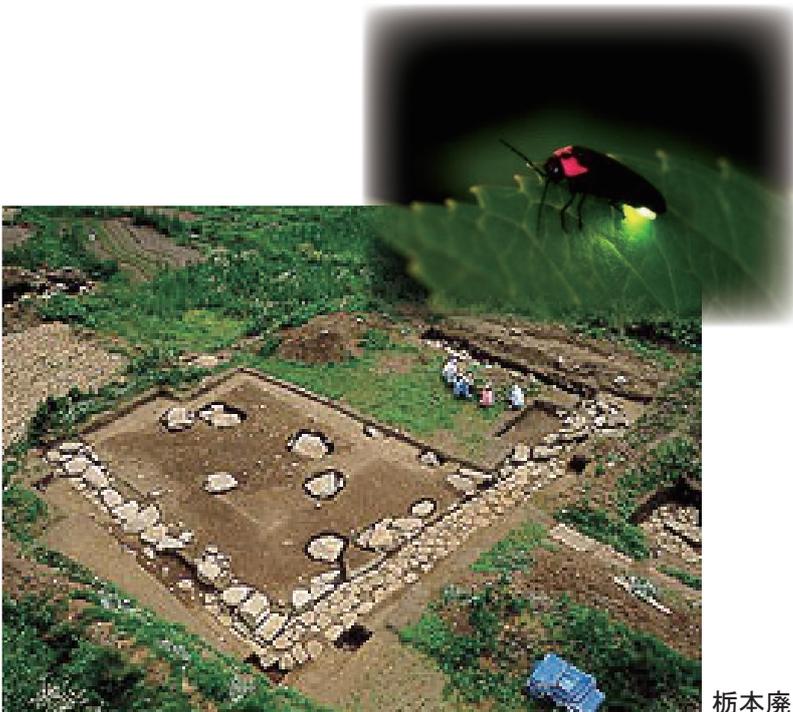
とっとりふるさと元気塾の塾生の皆様及び
集落・地域で活動されている皆様へ
地域別出前養成講座の開催をご案内いたします。
開催地域は国府町大茅地区です。

大茅地区には、日本の滝 100 選に数えられてい
る雨滝や昭和 10 年に国指定になった栃本廃寺跡、
夫婦杉と呼ばれる大杉がある木原神社、巨石が村
のシンボルとなっている大石など、歴史・文化の
香りが残っている集落が多くあります。また、新
たな地域活性化策としてホテルの里づくり計画も
進められています。

これらの大茅地区の地域資源を活かし、地域の活
性化を図るためにはどうすればよいのか。
地域の住民の皆さんと一緒に考え学びます。
ぜひご参加いただきますよう
ご案内申し上げます。

主催：鳥取市

※平成 27 年度 鳥取市過疎地域・中山間地域人材
養成事業「とっとりふるさと元気塾」は、合同
会社コミュニティデザイン工房が鳥取市よ
り事業を受託しています。



栃本廃寺跡

1. 国府町大茅地区 出前養成講座の開催スケジュール

① 19:00～ 開会

とっとりふるさと元気塾の今年度の事業説明

② 19:10～ 講義

「栃本廃寺跡の歴史を知る」

「ホテルの里づくりなどをテーマにした活動事例に学ぶ」

(講師：とっとりふるさと元気塾講師、他)

③ 19:40～ 参加型ワークショップの実施 (元気塾の講師により進行します)

テーマ「大茅地区の地域資源を活かし地域を活性化」

- ・地域資源（地域の宝もの）を地域の活性化に活かす方法を探ります。
- ・栃本廃寺跡とホテルの里づくりをテーマとした活性化の方向性についても考えます。

④ 20:45～ 話し合った内容の発表、講評、意見交換

⑤ 21:00～ 閉会

「栃本廃寺跡」

栃本集落のはずれに直径、高さとも1メートルばかりの石が目にとまります。これが、塔の心礎です。東塔心礎は長径110センチで上面を平に削り中央に経35センチ、深さ19センチの円孔と、その中にさらに直径13センチ、深さ8センチの舍利孔が作られています。西塔心礎は東のものより大きく、長径180センチで、円孔も49センチ、深さ20センチあり、また舍利孔も直径15センチ、深さ10センチあります。7世紀の初め仏教が伝来した当時は、寺院の中心は塔であり、その心礎に仏舍利（釈迦の分骨）を納め心柱を立て七重、五重の塔を作ったもので、奈良時代前期に創建された寺に多く見られます。

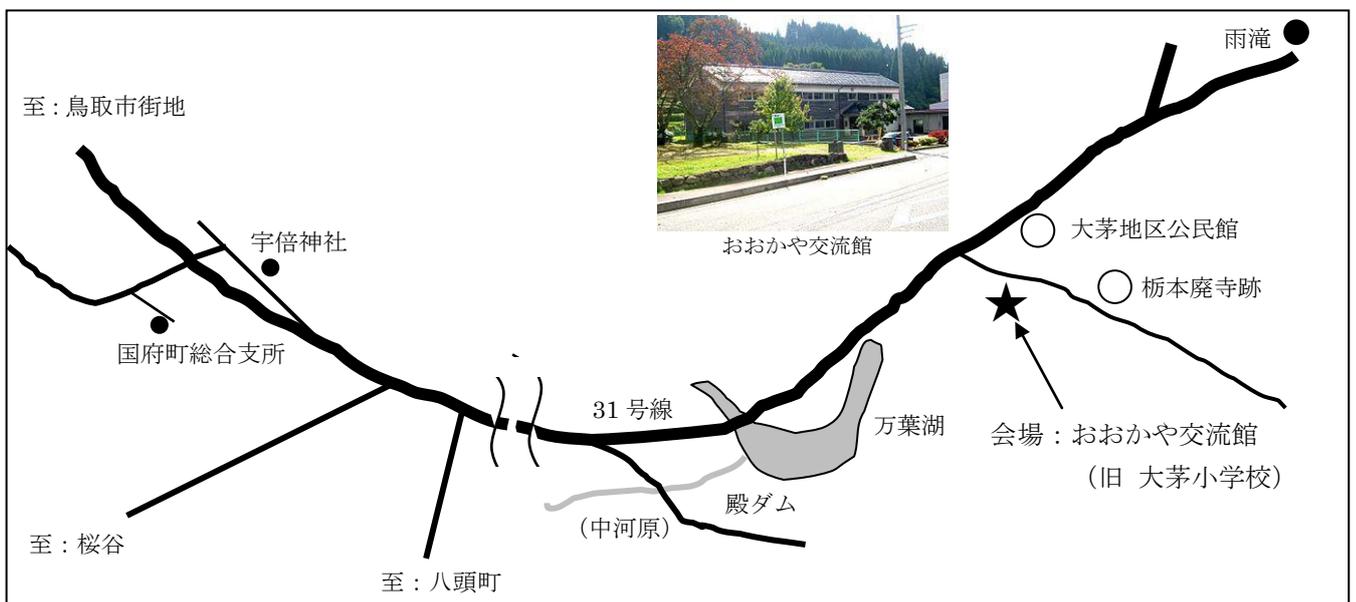
鳥取市国府町には、光良院、等ヶ坪等の古廃寺がありますが、草深い大茅の地に仏舍利納入の小円孔を持つ古寺院が創建されていたことは、仏教文化の浸潤の深さを物語るものです。

(鳥取市公式ウェブサイトより)



栃本廃寺跡

2. 会場MAP



3. 申込方法

申込希望者は、電話または別紙の参加申込書にご記入のうえ郵送、ファクシミリもしくは電子メールで、各総合支所地域振興課（鳥取地域は地域振興監地域振興課）までお申し込みください。

< 申込期限 > 参加申込：9月28日（月）まで

4. 申込先および人材養成事業に関するお問い合わせ先

■鳥取市各総合支所地域振興課

総合支所名	電話番号	ファクシミリ	電子メール
国府町	0857-39-0555	FAX 0857-27-3064	kf-chiiki@city.tottori.lg.jp
福部町	0857-75-2811	FAX 0857-74-3714	fb-chiiki@city.tottori.lg.jp
河原町	0858-76-3111	FAX 0858-85-0672	kw-chiiki@city.tottori.lg.jp
用瀬町	0858-87-2111	FAX 0858-87-2270	mc-chiiki@city.tottori.lg.jp
佐治町	0858-88-0211	FAX 0858-89-1552	sj-chiiki@city.tottori.lg.jp
気高町	0857-82-0011	FAX 0857-82-1067	kt-chiiki@city.tottori.lg.jp
鹿野町	0857-84-2011	FAX 0857-84-2598	sk-chiiki1@city.tottori.lg.jp
青谷町	0857-85-0011	FAX 0857-85-1049	ao-chiiki@city.tottori.lg.jp

■鳥取市地域振興監地域振興課（鳥取市役所本庁舎3階） 担当：小山

電話番号：0857-20-3184、ファクシミリ：0857-21-1594

電子メール：chiikishinko@city.tottori.lg.jp

5. 委託業者

この人材養成事業は、鳥取市が次の会社に委託して実施します。

合同会社コミュニティデザイン工房 代表社員：藤原 一輝

所在地：〒680-0862 鳥取市雲山298番地36

携帯番号：090-2004-9229（藤原）ファクシミリ：0857-27-6926

電子メール：n2v2kz@bma.biglobe.ne.jp

6. 主催 鳥取市

平成 27年 月 日申込

発信者

平成27年度 鳥取市過疎地域・中山間地域人材養成事業
とっとりふるさと元気塾 地域別出前養成講座

国府町大茅地区 出前養成講座（10月1日）参加申込書

所属等	氏名	住所	連絡先 (電話・携帯など)
(記入例) 〇〇区長	鳥取 太郎	鳥取市〇〇	090-1111-1111

所属等欄の記入例：一般、〇〇区長、〇〇協議会会長、委員

- ① 申込書の個人情報については、人材養成事業の目的以外の目的では利用いたしません。
- ② 新市域の方は、各総合支所（地域振興課）へお申込みください。
- ③ その他、鳥取地域（旧鳥取市）に在住の方は、市役所地域振興監地域振興課（FAX 0857-21-1594）へお申込みください。



平成 27 年度 鳥取市過疎地域・中山間地域人材養成事業
とっとりふるさと元気塾 地域別出前養成講座

気高町逢坂地区での出前養成講座の開催案内

「逢坂地区の連携を進め地域を活性化」

開催日 / 平成 27 年

参加者募集中!
(参加費無料)

9月25日(金)

14:00 ~ 16:30
(受付 13:30 ~)

会場 / 気高町 逢坂地区公民館

〒689-0345 鳥取市気高町山宮 637-4



講師：若松 進一

愛媛県伊予市双海町出身。
真似しない、真似できない
アイデアで地域力を作り上
げる観光カリスマ。
夕焼けプラットホームコン
サートを開催し、夕日とい
う価値を全国レベルに押し
上げた仕掛け人。

とっとりふるさと元気塾の塾生の皆様及び
集落・地域で活動されている皆様へ
地域別出前養成講座の開催をご案内いたします。
開催地域は気高町逢坂地区です。
逢坂地区には、布勢の清水で有名な殿集落の活動
や会下集落のうぐい突き保存会の活動、有機の里
づくり、ふれあいのまちづくりなどの
独自の取り組みがあります。
これらの地域活動の連携や、地域の拠点づくりの
推進などを通じて、逢坂地区全体の活性化に
つなげるにはどうすればよいのかを、
地元の活動団体や住民の皆さんと一緒に
考え学びます。
ぜひご参加いただきますよう
ご案内申し上げます

主催：鳥取市

※平成 27 年度 鳥取市過疎地域・中山間地域人材
養成事業「とっとりふるさと元気塾」は、合同
会社コミュニティデザイン工房が鳥取市よ
り事業を受託しています。

1. 気高町逢坂地区 出前養成講座の開催スケジュール

① 14:00～ 開会

とっとりふるさと元気塾の今年度の事業説明

② 14:10～ 講義：「地域の魅力を活かした地域づくり」

講師：若松 進一

講師プロフィール：愛媛県の地域づくりリーダー。総理府第10回青年の船班長としてアメリカ・メキシコを訪問。リーダーシップを見込まれ双海町役場に入庁。広報、社会教育主事等を担当。JR下灘駅のプラットホームコンサート、双海シーサイド公園など双海町の「夕日のまちづくり」を主導してきた。その後、地域振興課長と教育長などを歴任。2003年観光庁の観光カリスマ認定。えひめ地域づくり研究会議代表運営委員、愛媛大学農学部客員教授、人間牧場主。



講師：若松 進一

※講義のテーマは変更となる可能性があります。ご了承ください。



③ 15:20～ パネルディスカッションの開催

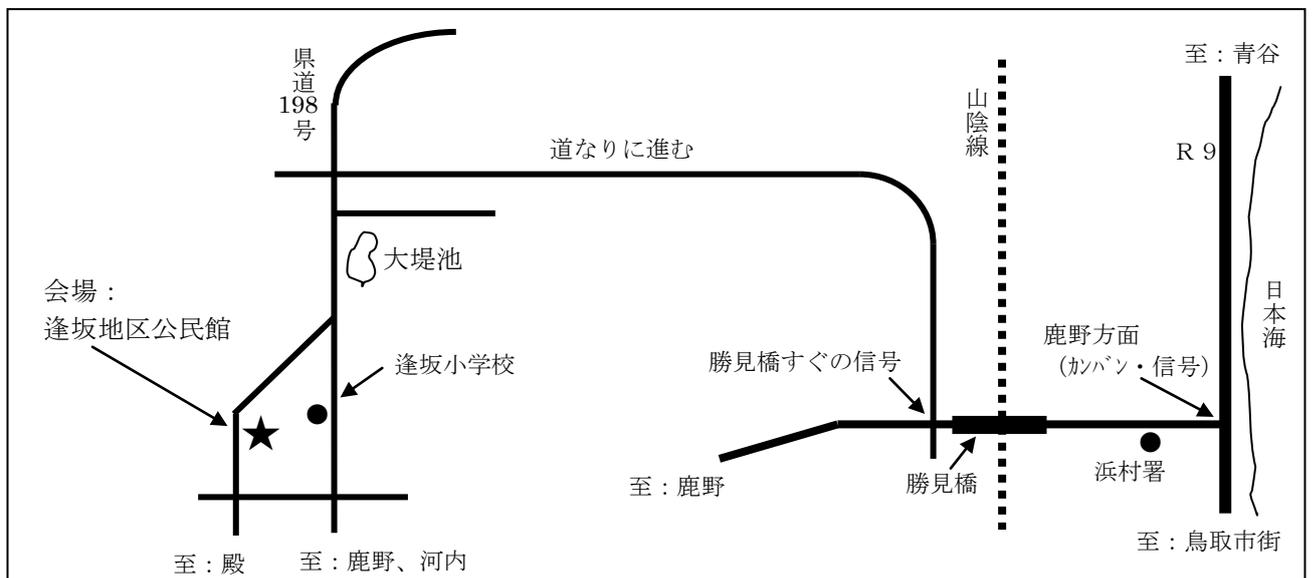
テーマ「逢坂地区の連携を進め地域を活性化」

- ・逢坂地区の活動団体や逢坂むらづくり協議会、地区公民館、その他関係者をパネラーとして、取り組み内容や地域連携について話し合います。
- ・講評とアドバイス

④ 16:30～ 閉会

2. 会場MAP

※駐車場は、逢坂地区公民館にあります。



3. 申込方法

申込希望者は、電話または別紙の参加申込書にご記入のうえ郵送、ファクシミリもしくは電子メールで、各総合支所地域振興課（鳥取地域は地域振興監地域振興課）までお申し込みください。

＜申込期限＞ 参加申込：9月18日（金）まで

4. 申込先および人材養成事業に関するお問い合わせ先

■鳥取市各総合支所地域振興課

総合支所名	電話番号	ファクシミリ	電子メール
国府町	0857-39-0555	FAX 0857-27-3064	kf-chiiki@city.tottori.lg.jp
福部町	0857-75-2811	FAX 0857-74-3714	fb-chiiki@city.tottori.lg.jp
河原町	0858-76-3111	FAX 0858-85-0672	kw-chiiki@city.tottori.lg.jp
用瀬町	0858-87-2111	FAX 0858-87-2270	mc-chiiki@city.tottori.lg.jp
佐治町	0858-88-0211	FAX 0858-89-1552	sj-chiiki@city.tottori.lg.jp
気高町	0857-82-0011	FAX 0857-82-1067	kt-chiiki@city.tottori.lg.jp
鹿野町	0857-84-2011	FAX 0857-84-2598	sk-chiiki1@city.tottori.lg.jp
青谷町	0857-85-0011	FAX 0857-85-1049	ao-chiiki@city.tottori.lg.jp

■鳥取市地域振興監地域振興課（鳥取市役所本庁舎3階） 担当：小山

電話番号：0857-20-3184、ファクシミリ：0857-21-1594

電子メール：chiikishinko@city.tottori.lg.jp

5. 委託業者

この人材養成事業は、鳥取市が次の会社に委託して実施します。

合同会社コミュニティデザイン工房 代表社員：藤原 一輝

所在地：〒680-0862 鳥取市雲山298番地36

携帯番号：090-2004-9229（藤原）ファクシミリ：0857-27-6926

電子メール：n2v2kz@bma.biglobe.ne.jp

6. 主催 鳥取市

平成 27年 月 日申込

発信者

平成27年度 鳥取市過疎地域・中山間地域人材養成事業
とっとりふるさと元気塾 地域別出前養成講座

気高町逢坂地区 出前養成講座（9月25日）参加申込書

所属等	氏名	住所	連絡先 (電話・携帯など)
(記入例) 〇〇区長	鳥取 太郎	鳥取市〇〇	090-1111-1111

所属等欄の記入例：一般、〇〇区長、〇〇協議会会長、委員

- ① 申込書の個人情報については、人材養成事業の目的以外の目的では利用いたしません。
- ② 新市域の方は、各総合支所（地域振興課）へお申込みください。
- ③ その他、鳥取地域（旧鳥取市）に在住の方は、市役所地域振興監地域振興課（FAX 0857-21-1594）へお申込みください。

「参画と協働のまちづくりフォーラム」の実施状況について

参考資料①

年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度
日時	平成21年1月30日(土)13時30分～16時00分	平成21年11月7日(土)13時30分～16時00分	平成23年1月22日(土)13時30分～16時10分
会場	鳥取市解放センター 大ホール	国府町中央公民館 多目的ホール	鳥取市民会館 大ホール
参加者	人	250人	200人
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・開会 竹内鳥取市長 ・市民活動表彰 被表彰者(団体) 10人(団体) ・活動事例発表 <ul style="list-style-type: none"> 中嶋須美子 「民話が育んだ出会いとふれあい」 ○日和(えんぴより) 「しゃんしゃんで彩るふるさとづくり」 ・意見交換 <ul style="list-style-type: none"> テーマ:市民が主役のまちづくり 進行 大久保良隆(市民自治推進委員会委員長) パネラー 安倍幸伸((社)鳥取青年会議所会員) 小原み幸(鳥取市市民活動委員会委員) 福井正樹(若葉台地区まちづくり協議会 「まちづくりWAKABADAI」副会長) 林 由紀子(鳥取市副市長) ・まとめ 家中 茂(フォーラム実行委員長) ・閉会 	<ul style="list-style-type: none"> ・開会 林鳥取市副市長 ・市民活動表彰 被表彰者(団体) 4人(団体) ・活動事例発表 <ul style="list-style-type: none"> 村山千代子 「ハーモニーの音色に魅せられて」 愛・やすらぎ川柳実行委員会 実行委員 前田孝子 「愛・やすらぎ川柳」のあゆみ ・アトラクション <ul style="list-style-type: none"> 国府東小学校「国府東太鼓」、「因幡の傘踊り」 ・講演 <ul style="list-style-type: none"> 演題:二番丁地区コミュニティ協議会の取り組みについて 講師 高松市二番丁地区コミュニティ協議会 石田雄士会長、吉田治企画委員長 ・意見交換 <ul style="list-style-type: none"> テーマ:魅力と活力あるまちづくり 進行 大久保良隆(市民自治推進委員会委員長) パネラー 臼井宏昌(美保南地区まちづくり協議会事務局長) 山崎豪太郎(まちづくり・いきいき成器の会会長) 福山裕正(鳥取ふるさとUI[友愛]会会長) 助言者 石田雄士、吉田治 ・まとめ 大久保良隆(フォーラム実行委員長) ・閉会 	<ul style="list-style-type: none"> ・開会 竹内鳥取市長 ・市民活動表彰 被表彰者(団体) 11人(団体) ・活動事例発表 <ul style="list-style-type: none"> 鳥取西地域キャラバンメイト連絡会 会長 山田節子 「高齢者の笑顔のために とともに手をつなぐ」 ・地域(みんな)の楽校(がっこう)づくりの会 前田伸二 「楽校づくりで散岐を元気に」 ・アトラクション <ul style="list-style-type: none"> 城北ファミリーバンド「勇気100%」「ありがとう」「どんなときも」 中ノ郷ふるさとくらぶ「さいとりさし」 ・講演 <ul style="list-style-type: none"> 演題:「妖怪によるまちづくり・境港市観光協会の挑戦」 講師 境港市観光協会 会長 榎田知身氏 ・まとめ 大久保良隆(フォーラム実行委員長) ・閉会
事業費	336,005円	452,086円	424,000円
実行委員会	市民自治推進委員会委員と公募市民で構成(委員数15人)	市民自治推進委員会委員と公募市民で構成(委員数15人)	市民自治推進委員会委員と公募市民で構成(委員数11人)

年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
日時	平成23年11月5日(土)12時30分～16時10分	平成24年12月2日(日)13時00分～16時15分	平成25年12月7日(土)12時30分～16時00分
会場	河原町中央公民館 大講堂	さざんか会館 市民活動フェスタと合同開催	さざんか会館 市民活動フェスタと合同開催
参加者	170人	650人(全体)	800人(全体)
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・開会 坂本悦子実行委員長 ・市民活動表彰 被表彰者(団体) 5人(団体) ・アトラクション ユウト(吉本興業 鳥取に住みます芸人) ・パネルディスカッション テーマ:「中山間地域を元気に！若い世代のまちづくり実践」 パネリスト 谷村敬子(カッパ手話サークル会長) 鳥谷一弘(グリーンツーリズム用瀬会長) 金田 透(金田ありのみ農園) 水川侑也(えんがわ事業実行委員会前委員長) コーディネーター 竹川俊夫(鳥取大学地域学部准教授) ・まとめ 大久保良隆(鳥取市市民自治推進委員会委員長) ・抽選会 「鳥取南部マルシェ」出店団体及びユウトさんの協力 ・閉会 	<ul style="list-style-type: none"> ・開会 竹内房男実行委員長、竹内鳥取市長 ・オープニングイベント ○日和(えんぴより) しゃんしゃん踊り ・市民活動表彰 被表彰者(団体) 7人(団体) ・活動事例発表 河原町民俗行事を語る会 会長 谷 幸彦(市民活動表彰団体) 「河原町の民俗行事」 ・(特)いんしゅう鹿野まちづくり協議会 会長 佐々木 千代子 「いんしゅう鹿野のまちづくり」 ・アトラクション 警察犬「カリンとフーガ」 じゃんけん大会 ・閉会 	<ul style="list-style-type: none"> ・開会 竹内房男実行委員長、竹内鳥取市長 ・オープニングアトラクション 鳥取JAZZ実行委員会 JAZZコンサート ・市民活動表彰 被表彰者 2人 ・パネルディスカッション 「住みよいまちづくりに向けて」～防災について考える～ (パネリスト) 土師 高文氏(ほっと大正まちづくり協議会会長) 諸家 紀子氏(鳥取県ろうあ団体連合会事務局次長) 富山 茂氏(鳥取市防災調整監危機管理課長) 中島 陽一氏(鳥取市福祉保健部次長兼高齢社会課長) (コーディネーター) 松原 雄平氏(鳥取大学工学部付属地域安全工学センター長) (アドバイザー) 竹内功鳥取市長 ・アトラクション 鳥取大学奇術部 マジックショー みんな集まれ！！ビンゴ大会 ・閉会
事業費	418,457円	339,230円	301,533円
実行委員会	市民自治推進委員会委員と公募市民で構成(委員数13人)	市民活動団体の代表者と市民自治推進委員会1名(委員数7人)	市民活動団体の代表者と市民自治推進委員会1名(委員数7人)

年度	平成26年度
日時	平成26年11月9日(日)10時00分～12時30分
会場	鹿野町老人福祉センターしかの和泉荘
参加者	90人
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・開会 渡邊勤治郎実行委員長 ・市民活動表彰 被表彰者 2個人、4団体 ・アトラクション 逢峰太鼓 ・パネルディスカッション 「中山間地域における若者の活動からまちづくりを考える」 (パネリスト) 荒尾 純子氏(ことり舎) 成瀬 望氏(八百屋barものがたり) 大石 剛史氏(O14(おーいし)いちご代表) 松尾 慶輔氏(前鳥取市若者会議メンバー) (コーディネーター) 佐藤 匡氏(鳥取大学地域学部講師) (オブザーバー) 深澤義彦鳥取市長 ・まとめ 池井輝夫(鳥取市市民自治推進委員会委員長) ・閉会
事業費	290,609円
実行委員会	市民自治推進委員会委員と西部地域住民(委員数13人)

参画と協働のまちづくりフォーラムの検証について

- 平成 26年7月30日（水） 「参画と協働のまちづくりフォーラム」第1回実行委員会
- 市民自治推進委員会委員及び西部地域の3町の市民で構成された13人をフォーラム実行委員会委員とし、第1回委員会を開催
 - 委員会スケジュール、事業費について
 - フォーラムの内容について
 - 物販ブース出店団体
- 平成 26年9月2日（火） 「参画と協働のまちづくりフォーラム」第2回実行委員会
- 収支予算
 - 物販ブース出店団体
 - チラシの校正
 - 広報の分担
- 平成 26年10月8日（水） 「参画と協働のまちづくりフォーラム」第3回実行委員会
- 当日の役割分担
- 平成 26年11月9日（日） 参画と協働のまちづくりフォーラム開催

1. 目的

市民一人ひとりが真に豊かに暮らせる地域社会をめざすため、市民参画と市民活動の推進に向けた機運を高めるとともに、参画と協働のまちづくりの重要性について考え、協働意識の向上を図る。

2. 実施日時及び会場

平成26年11月9日(日) 10:00~12:30
鹿野町老人福祉センターしかの和泉荘

3. 参加人数 90人

4. 内容

○10:00 開会

あいさつ フォーラム実行委員長 渡邊 勘治郎

○10:10 市民活動表彰

被表彰者(団体)6人(団体)

○10:30 アトラクション

逢鷲太鼓…逢坂地区の若者で昭和62年冬に結成。逢坂地区の「逢」の字と、その南にそびえる鷲峰山の「鷲」の一字をとり、逢鷲太鼓と命名した。現在は逢坂地区以外から参加するメンバーもいる。

○11:00 パネルディスカッション

「中山間地域における若者の活動からまちづくりを考える」

パネリスト	荒尾 純子氏(ことり舎)
	成瀬 望氏(八百屋 bar ものがたり)
	大石 剛史氏(014(おーいし)いちご代表)
	松尾 慶輔氏(前鳥取市若者会議メンバー)
コーディネーター	佐藤 匡氏(鳥取大学地域学部講師)
オブザーバー	深澤 義彦(鳥取市長)

○12:20 まとめ

池井 輝夫(鳥取市市民自治推進委員会委員長)

○12:30 閉会

《その他》

○パネル展示

平成26年度市民活動表彰被表彰者の活動紹介及び平成25年度市民まちづくり提案事業市民活動促進部門の事業について紹介

○地域の特産物販売

さくら工房、気高町観光センター、すずかけ、八百屋 bar ものがたり、(株)ふるさと鹿野、ふくし作業所、味菜会

○手話通訳を実施

○託児所開設

収 支 決 算 書

1. <収 入>

(単位：円)

費 目	予 算 額	決 算 額	増 減	備 考
委託料	340,000	340,000	0	鳥取市より委託料
雑収入	1,000	12	△988	預金利息
計	341,000	340,012	△988	

2. <支 出>

(単位：円)

費 目	予 算 額	決 算 額	増 減	備 考
事務費	10,000	11,890	1,890	切手代、収入印紙代
会議費	34,000	22,375	△11,625	実行委員会委員報償費、お茶代
事業費	296,000	256,344	△39,656	チラシ、プログラム等印刷費、出演者謝金、消耗品ほか
予備費	1,000	0	△1,000	
計	341,000	290,609	△50,391	

(収 入) 340,012円 - (支 出) 290,609円 = 49,403円
(残額は市に返還)

平成28年度 「参画と協働のまちづくりフォーラム（仮称）」について

1 目的

市民一人ひとりが真に豊かに暮らせる地域社会をめざすため、市民参画と市民活動の推進に向けた機運を高めるとともに、参画と協働のまちづくりの重要性について考え、協働意識の向上を図ることを目的に開催します。

2 開催予定日

平成28年5～7月の土曜日または日曜日

3 場所

鳥取地域

4 主催

参画と協働のまちづくりフォーラム実行委員会（仮称） 鳥取市
（実行委員会委員：鳥取市市民自治推進委員会、国府町、福部町の方）

5 具体的内容

必須 市民活動表彰
検討 アトラクション
パネルディスカッション
地域の特産品などのバザー

6 今後のスケジュール

10～11月	実行体制の決定及び具体的内容のたたき台の決定
12月	実行委員会の立ち上げ
H28.1月	第1回実行委員会の開催（第5回市民自治推進委員会と同日）
3月	第2回実行委員会の開催（第6回市民自治推進委員会と同日）
4～5月	第3回実行委員会の開催（第1回市民自治推進委員会と同日）
5～6月	フォーラム実施
9月頃	フォーラム検証（第3回市民自治推進委員会）